

さっぽろ建設産業活性化プラン 2025 策定後の今後の進め方について

1 さっぽろ建設産業活性化プラン 2025 の重点施策(R7)

■重点施策Ⅰ：担い手の確保・育成

- ・若い世代に合わせた効果的な手法による建設産業の魅力発信
- ・他分野の学生が参加しやすいイベントやインターンシップの実施
- ・女性や外国人など多様な人材の採用に向けた環境整備

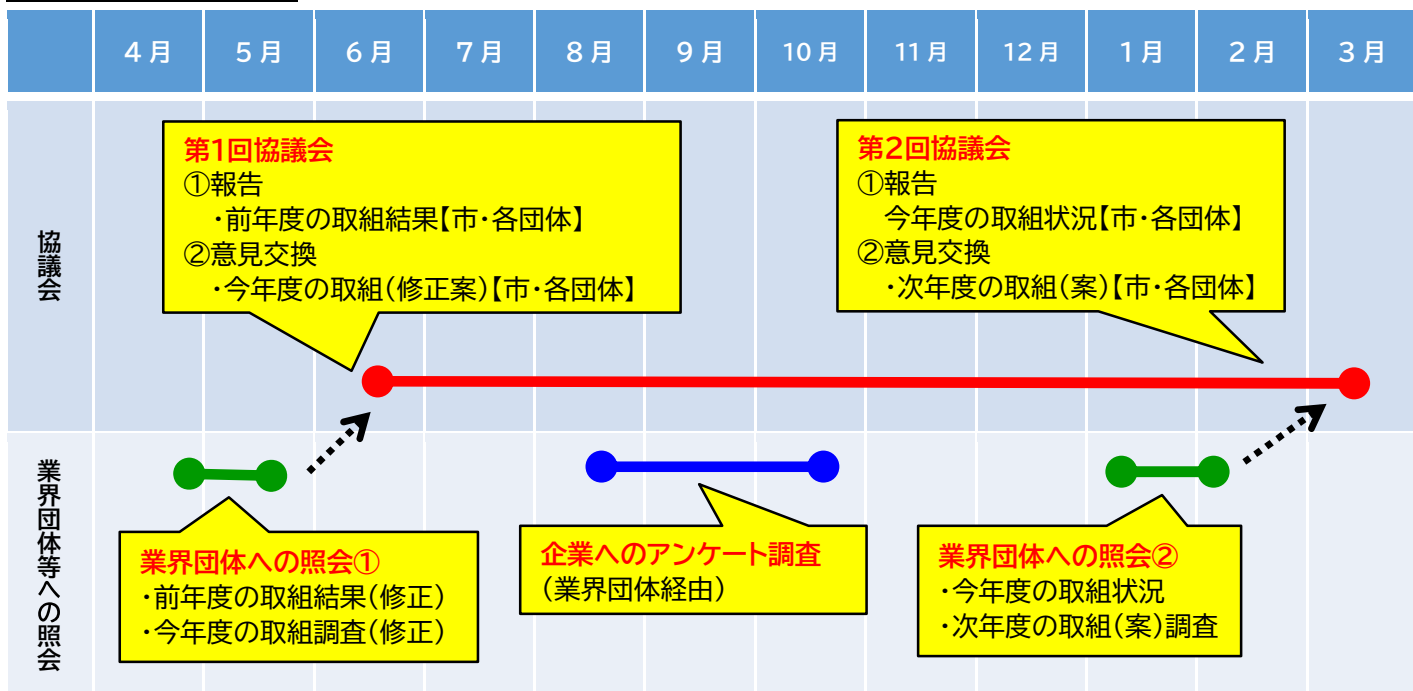
■重点施策Ⅱ：働きやすい労働環境の整備

- ・週休2日の質の向上に向けた対応強化
- ・工事の施工時期及び業務の履行期限に関するさらなる平準化の推進
- ・書類作成の負担軽減に向けた取り組みの推進

■重点施策Ⅲ：業界全体の生産性向上

- ・ICTの活用拡大に向けた環境整備
- ・工事や業務における提出書類の電子化の推進
- ・作業の省力化・効率化等に資するデジタル技術の情報収集及び水平展開

2 年間スケジュール ※年度により時期は前後することがあります



3 プランの進捗管理

「さっぽろ建設産業活性化プラン 2025」については、毎年進捗管理を行い、適宜管理指標を公表する。指標等を参考にしながら、目標の達成状況や環境の変化に応じて、内容の適切な見直しを行い、業界や市内各部局と協力して、効果的な取組の実施につなげる。

令和7年度 市の取組予定

重点施策Ⅰ：担い手の確保・育成

Point

- ・若い世代に合わせた効果的な手法による建設産業の魅力発信【市、業界】
- ・他分野の学生が参加しやすいイベントやインターンシップの実施【市、業界】
- ・女性や外国人など多様な人材の採用に向けた環境整備【市、業界】

建設業のPR動画を掲載

(1)推進協議会ホームページの運営・更新

- ・推進協議会ホームページ「さっぽろけんせつガイド」について、
「令和6年度 建設業の魅力発信コンテスト(北海道開発局主催)」
の受賞作品を更新。
⇒サイト内ページ《“けんせつ”ってなんだろう?》にリンク
…『俺たちは無名のヒーローだ』【優秀賞】
⇒サイト内ページ《建設業界で「はたらく」》にリンク
…『橋づくりにチャレンジする若き女性技術者たち』【最優秀賞】
…『ワクワクから始めよう! ~「好き」が生まれる場所がココにある~』
【入賞】
- ・R6 に作成したお仕事紹介ショート動画についてリンク
…札幌建設ショート動画(舗装工事編)(現場管理編)(インフラ管理編)
…「つくる」仕事、建設産業(ASMR)
- ・建設ディレクター協会へのリンク他、文言の修正等

建設業の魅力発信コンテスト
受賞動画札幌建設ショート動画
(舗装工事編)(現場管理編)

(2)各種現場見学ツアーの実施

名称	時期
夏休み親子土木施設見学ツアー	7月下旬~8月上旬予定
現場見学会(北海学園大学2年)	9~10月予定
現場見学会(北海道科学大学2年)	9~10月予定
現場見学会(札幌工業高校1年)	9~10月予定
土木施設めぐり女子ツアー	9~10月予定

JRA イベント
「はたらくクルマ大集合」

(3)各種イベント等へのブース出展

名称	時期	場所	主な対象
JRA イベント 「はたらくクルマ大集合」(R7 新規)	5/31	札幌競馬場	小学生以下と保護者
ジモトのシゴト ワク!WORK!	9/17・18	つどーむ	高校生
ミニさっぽろ 2025 ※除雪事業	9/30・10/1	アクセスサッポロ	小学生
(仮称)さっぽろシゴト博(R7 新規) ※経済観光局主催	10/31・11/1	パークホテル	中学生、一般
建設産業ふれあい展(道庁と共催)	1/10・11	地下歩行空間	小学生と保護者

(4)学校と連携したPRの実施

- ・札幌商工会議所が実施する中学生を対象とした建設産業の「体験授業」との連携(継続、規模拡大)
令和6年度:5校686名→令和7年度:9校1000名超
- ・小中学校を対象とした「雪と暮らすおはなし発表会」の実施予定
- ・小学校における「雪体験授業」の実施予定



R6「体験授業」の様子

(5)各種メディアを活用したPRの実施

- ・札幌市広報番組を活用した建設関連の仕事の紹介

(6)普通科高校へのインターンシップ促進

- ・北海道教育庁、市教育委員会と連携し、市内の高校に建設業のインターンシップへの参加協力を依頼済。現在、1校と具体的な日程等を調整中。

(7)外国人受け入れに関するセミナー

- ・特定技能外国人受入セミナーの開催(6/23(月)対面及びオンライン開催)
※経済観光局主催
- ・今後も情報収集を行い、適宜周知を行う



6/23 セミナー案内チラシ

(8)女性や他分野からの入職希望者

- ・北海道通信社に協力をいただき、女性技術者の入職経緯や実際の働き方などをインタビューした内容について、パネル作成を行い、各イベントでの展示等していく予定。
- ・他業種(特に事務職)への入職を希望する人に対して、建設産業への入職を促すため、各業界団体を通して、現場の支援体制について企業への聞き取りを行いながら、建設産業における多様な働き方などを紹介したパンフレットを作成し、ハローワークの協力を得て周知を行う予定。

(9)助成金制度の実施

- ・令和7年度は、新メニュー⑦⑧を加え、8つのメニューの助成を実施

メニュー	助成額	実績(件)	
		R5	R6
①女性用トイレ・更衣室設置への助成	1箇所あたり最大 50 万円	12	8
②女性の作業服等の装備品購入に対する助成	1人あたり最大3万円	16	24
③企業のインターンシップ受入れに対する助成	1日で4万円、2日で7万円 3日以上で10万円	25	28
④大型特殊免許取得に係る費用の助成	1人あたり最大4万円	19	30
⑤サッポロQMS認証取得に係る助成	最大 25 万円	5	15
⑥ICT施工導入支援に係る助成	施工に50万円、研修参加に3万円、 研修実施に3万円 or 6万円	11	29
⑦免許・資格取得に係る助成(新設)	1人あたり最大5万円	—	—
⑧建設DXに係る助成(新設)	1企業あたり最大10万円	—	—
合計		88	134

*②の実績件数は助成対象者数

重点施策Ⅱ：働きやすい労働環境の整備

Point

- ・週休2日の質の向上に向けた対応強化【市、業界】
- ・工事の施工時期及び業務の履行期限に関するさらなる平準化の推進【市、業界】
- ・書類作成の負担軽減に向けた取り組みの推進【市、業界】

(1)週休2日工事の発注

- ・土木工事では当初から「月単位の週休2日」の経費補正、営繕工事では当初「通期の週休2日」の経費補正とするが、達成時には「月単位の週休2日」の経費補正を行い、更なる週休2日を推進。

年 度	R5実績	R6 実績	R7 予定
①週休2日工事発注件数 (継続工事含む)	1,105 件	1,204 件	1,345 件
②未竣工(継続工事等)を 除く取組表明件数	876 件	965 件	—
③(通期の)4週8休達成	847 件	948 件	—
割合(③/②)	96.7%	98.2%	—

- ・市民理解の醸成に向け作成した「週休2日PRポスター」を各工事現場やイベント時に掲示予定

(2)工事の施工時期の平準化

- ・「早期発注(4～6月の稼働件数)」について、令和7年度も6割程度の発注予定
- ・余裕期間制度(フレックス方式)適用は、令和7年度に拡大し約4割程度の発注予定

年 度	R5実績	R6 実績	R7 予定
早期発注	639 件 (60%)	553 件 (53%)	685 件 (63%)
余裕期間制度	258 件 (24%)	283 件 (27%)	432 件 (40%)

* 当該年度の発注件数に対する割合

(3)業務の履行期限の平準化

- ・「早期発注」に取組むほか、「年度を跨いだ履行期間を設定した業務発注」を実施予定

(4)工事書類の作成に関する負担軽減

- ・提出書類縮減に向け、不要な書類を明示した「工事書類スリム化のポイント」(土木工事編)を令和7年3月に作成済。今後も関係者の意見を聞きながら、適宜改定していく予定。
- ・営繕工事については、令和7年3月に開発局にて「工事書類簡素化のポイント(営繕版)」が策定されており、札幌市においても工事書類簡素化要領等の見直しを行う予定。



工事書類簡素化のポイント(営繕版)(開発局)

重点施策Ⅲ：業界全体の生産性向上

Point

- ・ICTの活用拡大に向けた環境整備【市、業界】
- ・工事や業務における提出書類の電子化の推進【市、業界】
- ・作業の省力化・効率化等に資するデジタル技術の情報収集及び水平展開【市、業界】

(1)ICT 活用工事の発注

- ・ICT活用工事の発注は、毎年拡大しており、令和 7 年度は 78 件発注予定

年 度	R5実績	R6 実績	R7 予定
ICT 活用工事の発注件数	49 件	57 件	78 件
上段:工事件数、下段:工種数	54 工種	68 工種	94 工種

※令和 7 年度から、新たに小規模工事(市街地施工)においても取り組みやすい「First Step SAPPORO」型工事を発注し、ICT 活用の最初の一步を応援

(2)ICT 研修の実施

- ・受注者に向け「ICT 研修」を今年度も継続して実施
(4月に FirstStepSAPPORO 型マスター研修を実施。計 47 名参加)
- ・経営者向けの「ICT 研修」も7月に開催予定



ICT 研修チラシ(4 月)

(3)ICT に関する情報発信

- ・ICT 施工に関するホームページや相談窓口、ICT アドバイザー制度(開発局)を継続

(4)電子納品の標準化

- ・建設局土木部所管工事において 1 億円以上の工事について電子納品の標準化

(5)ICT を活用した作業等の効率化

- ・工事における「遠隔臨場」について、発注者指定型及び受注者希望型を合わせて活用を継続
- ・工事における「ASP(工事情報共有システム)」について、受注者からの提案に応じて活用を実施しており、土木・営繕共に実施件数は増加している。

※都市局建築部発注工事においては、一定の額、工期を超えるものについて発注者指定型を原則

年 度	R5実績	R6 実績
ASP(工事情報共有システム) 実施件数	土木 17 件 営繕 30 件 計 47 件	土木 57 件 営繕 61 件 計 118 件

各団体への照会内容項目 一覧

■担い手の確保・育成

【報告1】ホームページ、SNS の活用等による情報発信体制の充実

【報告2】インターンシップまたは体験イベントへの出展等の実施

【報告3】多様な人材(女性、他業種、外国人、普通科高校等の学生)への取組

■働きやすい労働環境の整備

【報告4】週休2日やワーク・ライフ・バランスの推進等、就業環境の整備への取組

【報告5】分業体制の構築の検討、および人材育成への取組

■業界全体の生産性向上

【報告6】生産性向上(効率化・省力化)に向けた取組

【報告7】新技術活用に関する取組や情報収集

【報告1】ホームページ、SNS の活用等による情報発信体制の充実

照会内容	貴団体及び会員企業における「ホームページやSNSの活用等による情報発信」に関する取組を教えてください。 例1:制作したPR動画をYouTube等に掲載し情報発信 例2:ホームページを最新の情報に更新し、定期的に内容のリニューアルを検討 例3:団体ホームページに会員企業ホームページへのリンクを掲載
------	---

No.	団体名	令和7年度取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・制作したPRマンガ、YouTubeに掲載したPR動画等を活用した情報発信。 ・ホームページのセキュリティを強化したほかスマホ対応にリニューアル。
2	札幌市土木事業協会	・従来はPC用専用のホームページであったが、今年からスマホ専用画面の追加を検討している～継続(会員企業) ・工事の掲示板にQRコードを埋め込みPRにあたる予定～継続(会員企業) ・YouTubeで人材募集等の広告を行っている～継続(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	・ホームページを活用し、学生向けの記事内容の発信に配慮しながら、情報発信体制の充実に取組む予定(団体、会員企業) ・協会ホームページを最新の情報に更新し、協会の活動内容等を紹介(団体) ・協会ホームページの会員名簿から会員企業ホームページにリンクして紹介(団体、会員企業)
4	(一社)北海道舗装事業協会	・新たなPR動画の制作とオウンドメディア「MICHI-FAN GUIDE」やインスタグラムを通じた情報発信
5	札幌会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	・ホームページを最新の情報に更新し、定期的に内容のリニューアルを検討 ・団体ホームページに会員企業ホームページへのリンクを掲載 ・団体ホームページに札幌市関係部署(雪対策室・道路維持)ホームページへのリンクを掲載
7	札幌塗装工業協同組合	・若年者向けに求人情報を組合HPに載せて情報発信を実施(団体) ・既成の塗装PR誌と各組合員の求人を含めた組合求人誌を作成(団体及び会員企業)
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・HPによる協会や各会員の事業紹介(団体) ・毎月1回、協会の活動等をまとめた北造協ニュースを引き続きHPに掲載(団体) ・年2回発行される広報誌みどりを引き続きHPにも掲載(団体)
9	(一社)札幌電設業協会	・自社制作のPR動画を発信(媒介は検討中) ・週1回のペースで各部署の若手社員が持ち回りで執筆。現場での仕事内容、やりがいなど、学生や求職者にリアルな声が届く内容を発信 ・グループ全体でInstagramを活用し、週1回以上の投稿を目標に、社員研修の様子、社内イベント、現場風景、地域貢献活動などを写真とともに紹介 ・ソフトテニス実業団の活動のほか、北海道サッカー協会との連携を通じ大会プログラム・HPリンクで建設業をPR ・PRTIMES等で新規受注・完工実績、SDGsや働き方改革への取り組み、若手育成プログラムなど、社会的関心の高いテーマを選定しリリース配信、SNS連携し拡散 ・制作したTVCMの放映(TVer等)およびPR動画をYouTube等に掲載し情報発信 ・スマホでも見やすいページになるようにメンテナンスしている ・ウェブページに採用サイトを特設(継続)、2026卒マイナビへの掲載および付帯サービスのSNS連携投稿(新規) (以上、会員企業) ・協力会ホームページに会員企業ホームページへのリンクを掲載(団体)
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・ホームページの記載内容を最新の情報にするため適時更新する
11	札幌市管工事業協同組合	・定期的(月2回)にホームページを更新して、最新情報を発信(団体)。 ・制作したPR動画をホームページに掲載、令和7年11月～2月の期間でYouTubeにて広告配信予定(団体)。 ・団体ホームページに会員企業ホームページへのリンクを掲載。
12	札幌管和会	—
13	札幌環境維持管理協会	・令和2年度に開設したホームページを活用して会員内外に情報を発信(団体)
14	札幌建具工業協同組合	・2017年にホームページを開設し、当組合の組織、各種事業(組合員)の社会貢献事業等の最新情報を発信しております。 ・組合員のホームページ上のブログを不定期ではありますが、情報を掲載しております。
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・ホームページを活用して、会員内外に情報を発信(継続)
16	札幌市設計同友会	・ホームページ等にて情報発信(会員企業)
17	札幌市測友会	・ホームページを随時更新し、札幌市や他団体の情報を随時提供する。
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	・会員のHP開設を推進(団体) ・会員内外に講習会、イベント等の情報発信(団体)
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	—

【報告2】インターンシップまたは体験イベントへの出展等の実施

照会内容	貴団体及び会員企業における「工業系学生等を中心とした入職促進」に関する取組を教えてください。 例1:インターンシップや現場見学の受入れ(工業系高校等に対して) 例2:職業体験や出前講座の実施(工業系高校等に対して) 例3:〇〇ツアーや〇〇イベントへの出展
------	--

No.	団体名	令和7年度取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・北海道札幌工業高校の土木科・建築科(2年生)及び保護者を対象とした現場見学会を開催。 ・北海学園大、北海道科学大を対象とした現場見学会を札幌市と共催。 ・北海道札幌工業高校のインターンシップについて会員企業との仲介。
2	札幌市土木事業協会	・若手だけで取組むイベントに助成を予定～継続(会員企業) ・毎年、札幌工業高校よりインターンシップを受け入れており本年度も継続する～継続(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	・入職促進(インターンシップや見学受入れ)に取組む予定(会員企業) ・施工管理の魅力について大学にて出前講座を実施(会員企業)
4	(一社)北海道舗装事業協会	・インターンシップ受入れ調整、イベントへの出展検討
5	札幌舗会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	・ジモトのシゴト ワク!WORK!の出展 ・環境広場さっぽろへの出展
7	札幌塗装工業協同組合	・札幌商工会議所の企画による任期制自衛官向け業界研修に参加(組合求人誌を活用。団体) ・札幌商工会議所の企画による道内高校との連携強化事業に参加(団体及び会員企業) ①インターンシップ(オープンカンパニー) ②就職情報交換会 ③出張型企業説明会
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・夏場に市内の大学への出前講座と現場見学会を開催予定(団体) ・札幌商工会議所が主催する「出張お仕事体験会」に、参加を検討中(団体)
9	(一社)札幌電設業協会	・インターンシップの受け入れ、各種職場見学会の実施 ・ポリテクセンターへ会社説明会の実施 ・工業系高校以外の学校からのインターンシップの実施要請に協力 ・出前講座、職業体験の実施(工業系高校、普通科高校) ・こどものまちミニさっぽろで電気工事のお仕事体験提供 ・2026卒向け現場見学会および若手社員との食卓会、2026卒マイナビのイベント出典(以上、会員企業)
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・「ジモトのシゴト ワク!WORK!」へ札幌市管工事業協同組合と合同で出展し、配管の組立体験、3D CAD操作体験をしてもらい業界の認識を深めてもらう ・札幌商工会議所主催の「出張お仕事体験会」で中学生を対象に札幌市管工事業協同組合と合同で出展し、配管の組立体験をしてもらい業界の認識を深めてもらう
11	札幌市管工事業協同組合	・北海道札幌琴似工業高等学校 電子機械科1年生及び2年生のインターンシップ(事前講義、札幌市水道局「藻岩浄水場」施設見学、配管実習及び就業体験)を実施予定(団体及び会員企業)。 ・札幌商工会議所からの依頼で「ジモトのシゴト ワク!WORK!」へ札幌商工会議所、(一社)札幌空調衛生工事業協会及び関係団体と合同で出展予定(団体)。 ・札幌商工会議所からの依頼で「出張お仕事体験会」へ(一社)札幌空調衛生工事業協会と合同で出展予定(団体)。 ・ミニさっぽろ 2025 実行委員会(構成団体:札幌市等)主催「こどものまち『ミニさっぽろ 2025』」へ出展予定(団体)。
12	札幌管和会	—
13	札幌環境維持管理協会	・インターンシップの受入れ(会員企業)
14	札幌建具工業協同組合	・さっぽろ建設産業活性化推進協議会が推進するインターンシップへの参加。 ・就労支援施設からの工場見学の要望への受け入れ。 ・札幌地方職業能力開発協会が主催する技能フェスティバルの「モノづくり体験」で札幌技能士会と参加支援しております。
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・大学への業界説明・PR 講義開催(継続) ・ポスターカレンダーを製作し、各大学・高専へ配布(継続) ・札幌市主催 1 日インターンシップへの参画(新規)
16	札幌市設計同友会	・インターンシップの受け入れ(会員企業) ・求人媒体との連携(会員企業) ・企業説明会への参加(会員企業)
17	札幌市測友会	・「建設産業ふれあい展」「ジモトのシゴト ワク!WORK!」「出張お仕事体験」等に参加する。
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	—
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	—

【報告3】多様な人材(女性、他業種、外国人、普通科高校等の学生)への取組

照会内容	貴団体や会員企業における「多様な人材(女性、他業種、外国人、普通科高校等の学生)」に関する取組を教えてください。 例1:女性技術者合同座談会の開催 例2:他業種または外国人材の採用・求人活動 例3:職業体験や出前講座、インターンシップの実施(普通科高校等に対して)
------	---

No.	団体名	令和7年度取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・建青会の「夏休み親子現場見学会(主に小学生親子)」を共催。 ・「建設産業ふれあい展」にブースを出展設置。 ・札幌「建設産業体験会(中学2年生対象)」に会員企業8社が参加。 ・「(仮称)人材確保・定着セミナー(外国人採用編)」への後援(参画)。
2	札幌市土木事業協会	・求人採用範囲を未経験者からとして広げて、多様な人材(女性など)の採用を促進する予定。～継続(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	・女性技術者の「どさん娘の会」所属を継続する予定(会員企業)
4	(一社)北海道舗装事業協会	・オウンドメディア「MICHI-FAN GUIDE」を通じた情報発信
5	札幌舗会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	－
7	札幌塗装工業協同組合	・札幌商工会議所の企画による道内高校との連携強化事業に参加(団体及び会員企業) ①インターンシップ(オープンカンパニー) ②就職情報交換会 ③出張型企業説明会
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・当協会の会員企業に所属する女性職員により「緑麗会」という組織をつくっているが、当会が札幌市の大通花壇造成事業に参加した状況を、ホームページにより紹介する。(団体)
9	(一社)札幌電設業協会	・高専や工業高校以外の学部・学校への求人範囲の拡大 ・性別、経験あり・未経験問わず求人活動を実施中 ・女性・外国人の採用活動 ・工業系以外の学部へも積極的に学校訪問し、文理不問で募集。中途未経験人材も積極採用 ・建設ディレクターとして女性社員を積極採用 ・今まで男性社員が担当していた技術的な知識を必要としていた業務に対しても、女性を雇入れその業務を受け持つてもらえるように指導している ・性別に関係なく業務の質を評価し人事考課している (以上、会員企業)
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・当協会の広報誌[KIRAMEKI]へ会員企業の女性職員に日常業務内容、職場環境や業界に対する女性の視点などを投稿してもらい、女性が働きやすい業界であることを紹介する記事を掲載する
11	札幌市管工事業協同組合	－
12	札幌管和会	－
13	札幌環境維持管理協会	・インターンシップの受入れ実施(会員企業)
14	札幌建具工業協同組合	・高等支援学校の体験実習の受け入れ。(年2回実施)。
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・札幌市主催1日インターンシップへの参画(新規)
16	札幌市設計同友会	・インターンシップの受け入れ(会員企業)
17	札幌市測友会	－
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	－
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	・普通科高校の学生に対し、これまで同様、職業体験等(建築設計等)のインターンシップを実施 ・札幌商工会議所主催の小学生・中学生を対象とした設計等のお仕事体験との連携

【報告4】週休2日やワーク・ライフ・バランスの推進等、就業環境の整備への取組

照会内容	貴団体や会員企業における「就業環境の整備」に関する取組を教えてください。 例 1:週休 2 日の確保や適正な休暇の取得に向けた取組 例 2:育児休業や育児休暇の取得を推進 例 3:建設キャリアアップシステムの導入
------	---

No.	団体名	令和 7 年度の取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・CSRとコンプライアンスに関するセミナーを開催。 ・「行動宣言 2016 実践集」の作成 ・建設キャリアアップシステムの導入促進。
2	札幌市土木事業協会	・週休2日制を今年度より規定とする。また、下請け会社にも協力をお願いして、その経費の上乗せを行う予定～継続 ・原則、週休2日制を実施しているが、冬期間の除排雪時には確保が難しいため、代替休暇を取らせている。残業時間は0時間を目標に取り組んでおり、そのための増員を進めている～継続 ・就業時間、代替休暇取得を携帯アプリやサーバーで管理し、管理者に情報を共有して就業状況を把握～継続（会員企業） ・有給休暇を積極的に取るように、会社からの指示を現場担当者に行い、そのための増員を会社として積極的に人員募集に努めている～継続（会員企業）
3	(一社)札幌中小建設業協会	・時間外労働の上限規制に努めるため、月 30 時間の見込み残業制度に取組む予定(会員企業) ・都市型土木の性質上、現場事務所の設置が困難な場合があるが、時間外労働の短縮に向けて、車両型事務所を購入し帰社後の机上残業の短縮に努める予定(会員企業) ・繁忙期での週休2日の確保が難しいため、年間トータルで運用する予定(会員企業) ・通年雇用月給制に移行し、週休 2 日に対応できる労働環境を確保する予定(会員企業)
4	(一社)北海道舗装事業協会	・アスファルト合材プラントにおける土曜閉所の取組
5	札幌会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	－
7	札幌塗装工業協同組合	・働き方改革支援センターをはじめ、関係各所からの情報提供、働き方改革に向けた会員企業を対象とした相談の実施
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・ノー残業デーの実施(会員企業) ・有給休暇の取得促進(会員企業)
9	(一社)札幌電設業協会	・リフレッシュ休暇の導入、健康手当の導入 ・週休 2 日制への移行準備 ・就業者の4週8休を推進しながら ワークバランスの確保 ・36 協定及びキャリアアップ導入を行っているので、引き続き継続 ・週休 2 日の確保や適正な休暇の取得に向けた取組みのため、毎月の部内会議にて個人ごとの「有給取得日数・時間外勤務時間」を全体で共有している。 ・タスク管理ツールや月1の会議により各現場状況の整理し、業務分析を行う ・毎年年間休日数を増加 ・時間外労働時間をアプリで通知、上司が業務をコントロールすることで時間外労働の偏りを解消 ・家庭と仕事の両立支援として、育児休業や時短勤務等の取得を推進 ・社外にオンライン相談窓口を設け、社員のメンタルヘルスケアを実施 ・育児休業、育児休暇制度の見直し実施 ・ワークライフバランス検討プロジェクトをたて、就業環境整備の検討を実施中 ・有給休暇の取得促進に向けた「全社目標(年間 12 日以上 of 休暇取得)の設定」と「休暇取得促進日・促進月間の取組」の実施 ・札幌市ワーク・ライフ・バランス plus 企業認証(ステップ3)取得済み ・北海道働き方改革推進企業(シルバー)更新 ・女子社員出生のとき産前産後は有給の特別休暇、子女出生のとき 5日の別休付与(3ヶ月以内なら自由に利用可) ・高機能な勤怠管理システムの導入による従業員の勤怠把握および上限規制超過防止のための従業員への適時通知 ・現場責任者の人事評価項目に現場メンバーの休日確保推進や時間外労働の適性な管理などを追加 ・全社員の人事評価項目に生産性(時間当たりの粗利益)を追加し漫然とした時間外労働の削減をねらう (以上、会員企業)
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・官公庁の発注機関との意見交換会を開催し、担い手確保・育成のための環境整備を要望する
11	札幌市管工事業協同組合	－
12	札幌管和会	－

13	札幌環境維持管理協会	・働き方改革についてのセミナーの実施(団体) ・週休2日の確保及び時間外労働の削減など働き方の取り組み(会員企業)
14	札幌建具工業協同組合	・完全週休 2 日を実現するために、パートナー企業との連携
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・業界一斉「毎週水曜日をノー残業デー」の実施(継続)
16	札幌市設計同友会	・有給休暇の取得推進(会員企業) ・育児休業の取得推進(会員企業) ・介護や育児と仕事の両立支援(会員企業)
17	札幌市測友会	・週休 2 日の実施状況をアンケート調査にて聞き取る。
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	—
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	—

【報告5】分業体制の構築の検討、および人材育成への取組

照会内容	貴団体や会員企業における「分業体制の構築の検討および人材育成」に関する取組を教えてください。 例 1:建設ディレクターまたは類する役職等の設置による分業体制の導入または検討 例 2:資格取得支援 例 3:研修会の実施
------	---

No.	団体名	令和7年度取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・新入社員合同研修会の開催 ・「(仮称)人材確保・定着セミナー(バックオフィス編)」への後援(参画)。
2	札幌市土木事業協会	・長期、短期の柔軟なインターンシップ受け入れを実施する。また、YouTube チャンネルでの仮想就業体験を計画している。～継続(会員企業) ・土木、機械等の資格については会社負担にて講習を受けさせている。ただし、教育訓練給付金対象のみ。～継続(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	・「現場技術者研修会」を集合研修で行うとともに、その内容を録画、ファイル化し、オンデマンド・リモート研修として、後日配信する予定(協会)
4	(一社)北海道舗装事業協会	・若手技術者の技術力向上のため舗装基礎技術研修の実施
5	札幌会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	・若手や初心者のおペレータ育成・技術伝承のための実技研修
7	札幌塗装工業協同組合	・会員企業は新卒入職者(高校)並びに転職者を組合が運営する塗装技術学院(職業訓練校)に入校させ学ばせる。(団体及び会員企業) ・会員企業は組合並びに各種団体が実施する各種技能講習会に参加させる。(団体及び会員企業)
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・4月中旬に、会員の若手・新入社員を集めて3日間にわたる研修会を開催した(団体) 【主な研修内容】 ・建設業社員としての心構え ・建設現場における基本、仕事の流れ、基本技術 ・若手技術者に求められる基本動作 ・施工管理の基本、現場の安全 ・9月上旬に、庭園樹剪定技術講習会を開催し、剪定技術の習得と庭園管理技能の向上を図る(団体) ・自ら研修内容を企画し、視野の拡大と意識改革を図ることを目的に「自主企画国内派遣研修」の制度を運用しているが、参加者を募集する(団体) ・日本造園建設業協会が主催する資格制度(街路樹剪定士、植栽基盤診断士)や北造協が主催する植生施工管理技士を利用して、企業内の資格者増に努める(会員企業) ・造園技術講演会、植生技術講演会を開催し、技術の研鑽に努める。
9	(一社)札幌電設業協会	・社内での定期的な研修実施(ハラスメント・職長教育・安全衛生講習等) ・建設ディレクターまたは類する職位の人材確保。主に女性や軽度障害者などを起用 ・資格取得の支援し、将来的に職種への希望する選択肢を増やす取組む ・資格取得・技術講習の取組みを引続き継続 ・資格取得支援(助成金を積極的に活用中)、研修会の実施(グループ会社が主催する年間研修計画に基づき、様々な研修を受講中) ・講習会費用等のサポート ・2025年度より職業能力開発大学校及びポリテクセンターと連携開始、新卒含め業界未経験入社社員に対し約1か月の研修を実施 ・業務に必要な資格に対し取得支援制度を拡充。報奨金として最大22万円を設定、資格取得者の増加を図る ・60歳以上の技術者を嘱託社員として積極採用。また再エネ技術に精通した社員からの定期的な勉強会等を実施し技術を伝承 ・業務効率化と属人化による業務の偏りの解消のため、内外勤務の分業体制の構築を検討 ・技術訓練用の自社施設建設について検討を開始 ・建設ディレクターを職種として正式に設置、クラウド型HRシステム「カオナビ」の導入し、実績の正確な記録、スキルマッチングおよびキャリアプランニング、人事評価基準および報酬体系の明確化に取り組む ・産廃マニフェストの集計や一部安全書類の整備を本社事務方にて行う ・新規・中途入職者等の育成・技術承継のための定例会議、施工前検討会の確保(以上、会員企業)
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・技術系新入社員研修会を開催し人材育成に取組む ・技術系ステップアップ研修会(入社後2～4年の職員対象)を開催し、技術承継に取組む ・施工管理技士の受験講習会を開催し、若手の資格取得促進に取組む

11	札幌市管工事業協同組合	・管工事業界で必要となる各種資格試験(給水装置工事主任技術者試験、1・2級管工事施工管理技術検定試験、1・2級土木施工管理技術試験)に合格した、会員企業の従業員へ資格試験受験料の助成を実施予定(団体)。 ・給水装置工事就任技術者試験の勉強会、直前講習会を実施予定(団体)。 ・技術継承、人材育成等を目的とした「(仮称)次代へつなぐプロジェクト」の作成に向け、継続して検討予定(団体)。
12	札幌管和会	—
13	札幌環境維持管理協会	・資格取得の奨励、支援
14	札幌建具工業協同組合	・技能士をはじめ、建築施工管理技士、その他の資格取得の推進。
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・若手技術者を対象としたミス防止に関する講習会の実施(継続)
16	札幌市設計同友会	・資格取得支援(会員企業) ・熟練技術者主導の実践的勉強会による技術伝承(会員企業)
17	札幌市測友会	・契約時における電算化の促進について、札幌市と意見交換を実施する予定。
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	—
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	会員事務所の職員に対し、資格取得支援として1級建築士試験勉強会を実施

【報告6】生産性向上(効率化・省力化)に向けた取組

照会内容	貴団体や会員企業における「生産性向上(効率化・省力化)」に向けた取組を教えてください。 例 1: 工事における ICT 施工や ASP、電子納品等の実施 例 2: 業務における〇〇技術の活用
------	---

No.	団体名	令和 7 年度の取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・「(仮称)人材確保・定着セミナー(生産性向上編)」への後援(参画)。
2	札幌市土木事業協会	工事における ICT 施工や ASP、電子納品等の実施を積極的に検討し、受注工事に対応して行く。(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	・生活道路整備工事等で ICT 施工を導入する予定(会員企業) ・協会ホームページから ASP 利用申込みフォームにリンクして活用を促進(協会及び会員企業)
4	(一社)北海道舗装事業協会	・各種講習会等の会員への情報発信
5	札幌舗会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	—
7	札幌塗装工業協同組合	・現場検査に対するデジタル技術導入の検討
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・ICT を活用した生産性向上に関する研修について検討を行う。(団体)
9	(一社)札幌電設業協会	・デジタル技術の活用。(ASP、電子納品等は実施済み) ・工事における ICT 施工や ASP、電子納品等の実施。デジタル技術の活用(工事・業務) ・タブレット等を用いて社内全体での情報の共有や更新体制の拡充 ・NI コラボ導入により、紙回覧をパソコン回覧へ。スケジュール等も NI コラボにて共有化を実施(2024 年より実施) ・グループ親会社に設置されている IT 専門部門(4 名所属)と密接に連携し DX を積極的に推進 ・一定以上の役職者に対しノートパソコンを支給、セキュリティを担保したうえで社内外問わず対応できる環境を整備 ・工事写真の撮影・共有や図面閲覧、また電子黒板アプリを利用するため、現場用 iPad 導入を含めた現場作業のデジタル化を推進 ・「ANDPAD」「スパイダープラス」等の現場支援アプリの活用し、図面管理・検査記録・打合せ資料の共有等をアプリ上で一元化。現場と内勤の情報連携を強化、報告・連絡・確認作業の省力化を図る ・売上・利益・労働時間を集約した BI ツールを開発、労働生産性を軸にした事業マネジメントを実施 ・見積作成や案件管理などのオリジナル業務アプリを内製開発、業務効率の向上と社内情報共有・進捗の見える化を実現 ・OCR、RPA 技術の導入による帳票入力作業の効率化 ・現場からの課題発見と改善案を広く集め、新技術やツールを活用した取組を表彰。実務レベルで展開し、ボトムアップでのイノベーションを推進 ・現場管理アプリ(SPIDERPLUS)による、写真整理や現地試験帳票作成、現場情報管理の効率化および現地試験帳票作成の BPO サービス利用による生産性向上 ・自動レイアウトツール(PLT300/400)を使用した、現場墨出し作業の効率化と、墨出し用施工図作成業務の省力化 ・Bluetooth 測定機器類のデジタルデータ化を実施し作業を効率化 ・クラウドサービスの活用による業務の効率化・標準化および情報共有 (以上、会員企業)
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	—
11	札幌市管工事業協同組合	—
12	札幌管和会	—
13	札幌環境維持管理協会	・点検調査・保守業務の機器及び施工方法への新技術導入促進
14	札幌建具工業協同組合	・人材不足の対応のため、機械導入計画及び札幌市工事書類スリム化のポイントに則り、業務作業の減少を目指す。
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・支部内に「BIM/CIM 検討 WG」を設置し、BIM/CIM の活用、課題について議論(継続) ・ICT に関する講習会を会員向けに実施(継続)
16	札幌市設計同友会	・Teams 等コミュニケーションツールを活用した部門間等の情報共有の迅速化(会員企業) ・社内講習による基本ソフトウェアスキルの向上(会員企業) ・e ラーニングによる研修(会員企業)
17	札幌市測友会	・ICT 活用を促進し、自動追尾 TS を用いた測量作業の研修を検討。
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	—
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	—

【報告7】新技術活用に関する取組や情報収集

照会内容	貴団体や会員企業における「新技術活用に関する取組や情報収集」を教えてください。 例 1: 新技術に関するイベント(〇〇)への出席・参加 例 2: 大学などの研究機関等と共同した新技術の検討・開発
------	---

No.	団体名	令和7年度取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・現場代理人研修会(WEB)の開催
2	札幌市土木事業協会	・外部教育機関を活用して新技術に関する交流を図る。(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	・大学との共同研究による、AI等を活用した新技術の開発(会員企業)
4	(一社)北海道舗装事業協会	・舗装研究助成を通じた技術開発、調査研究
5	札幌舗会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	－
7	札幌塗装工業協同組合	・関係団体の技術委員会への参加等による情報収集
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	－
9	(一社)札幌電設業協会	・SPT 配管診断(特許取得)、ジャパンビルド 2024 へ出展、マンション総合EXPO2025 出展予定、東京都トライアル発注認定制度、公益社団法人ロングライフビル推進協会 BELCA 技術認定取得 ・新基準の工具類への切替を積極的に促進して、生産性の向上や業務時間の短縮を図る ・講習の参加、各企業の安全大会でのメーカーPR で情報収集 ・新技術等のメーカーが開催する勉強会への出席 ・最新の ICT・AI・業務改善ソリューションに関する情報収集を目的に道内外の IT 関連展示会・セミナー等に積極的に参加 ・社内での AI 活用に関する講習会の実施 ・はこだて未来大学「ICT 演習」に協力、学生への指導を通じて新たな技術の導入を検討 ・大学等への訪問により、新技術の勉強や関係性構築を実施 ・ビジネス EXPO、JECA FAIR(電設工業展)等の展示会への参加 ・電気設備学会、照明学会等の各種学会主催の講演会の聴講および見学会への参加 (以上、会員企業)
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	－
11	札幌市管工事業協同組合	－
12	札幌管和会	－
13	札幌環境維持管理協会	・各種展示会への参加により新技術情報の収集及び会員企業への情報共有
14	札幌建具工業協同組合	・金物メーカー等の新製品発表会等の出席
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・北海道開発局 新技術活用評価委員会に参画(継続) ・土現新技術ショーケースに参画(継続)
16	札幌市設計同友会	・大学等研究機関との共同研究による新技術開発(会員企業) ・学術論文の発表および学会参加を通じた最新技術情報の収集と活用(会員企業) ・業界展示会へ参加(会員企業)
17	札幌市測友会	・自動運転の社会実装における測量成果の検証についての情報収集
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	－
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	・会員の新技術を提案する場を設け、新製品の展示、新技術の紹介により会員同士の交流を通じて情報交換を推進

「道の魅力、道の価値」 MICH-FAN GUIDE

ミチにまつわる情報サイト

「舗装」は、未来だ。

道の歴史の紹介や、最新の技術、舗装に携わる
スタッフたちの情熱溢れるストーリーなど、
「道」の面白さや多様な魅力を発信しています！



ブランド動画
公開中よ



URL

<https://michi-fan.com/>



運営

一般社団法人北海道舗装事業協会

協力

北海道アスファルト合材協会

一般社団法人日本道路建設業協会北海道支部

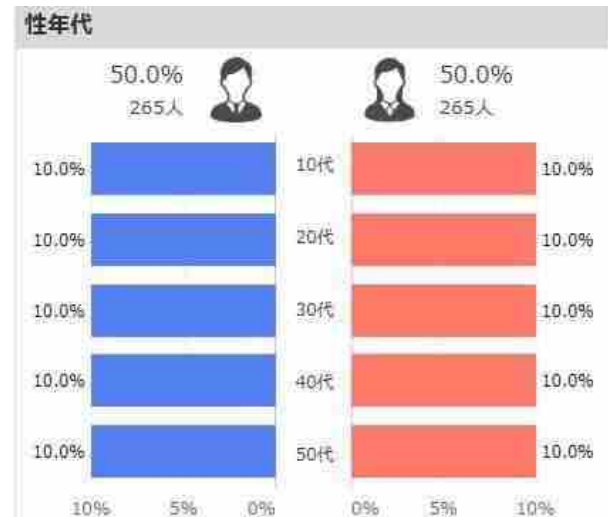
建設産業へのイメージを調査するため、LINEリサーチを活用したアンケートを実施



■実施概要

- ◎仕様：LINEリサーチ（アンケート）
- ◎調査期間：2025年3月21日（金）

- ◎サンプル数：530
- ◎実施エリア：札幌市
- ◎属性：10代～50代
- ◎性別：不問



Q1あなたの立場を教えてください

- ・学生①（小・中学生）
- ・学生②（高校生）
- ・学生③（大学生・専門学校生）
- ・就業者（会社員・経営者・パートなど）
- ・主婦・主夫（家事手伝いや出産・育児中を含む）
- ・あてはまるものはない

Q2.現在、求職活動を行っているか教えてください

- ・行っている
- ・行っていない

Q3.建設業（建設産業）に対するイメージを教えてください（いくつでも）

〔役割〕

- ・まちをつくる仕事
- ・災害時に活躍している
- ・除雪作業を行っている
- ・社会に必要な仕事

〔労働環境〕

- ・体力が必要な仕事
- ・給料が低い仕事
- ・危険な仕事
- ・休みがない仕事
- ・労働時間が長い仕事
- ・屋外で作業する仕事

〔仕事内容〕

- ・専門的な職業
- ・誰でもできる簡単な職業
- ・自己成長が望めない職業
- ・あこがれる職業
- ・働いてみたい職業

〔従事者〕

- ・厳しい（こわい）人が多い
- ・やさしい人が多い
- ・男性が多く体育会系の職場
- ・女性が増えてきている

Q4.建設業（建設産業）に対する上記のイメージを持った理由（機会）を教えてください（いくつでも）

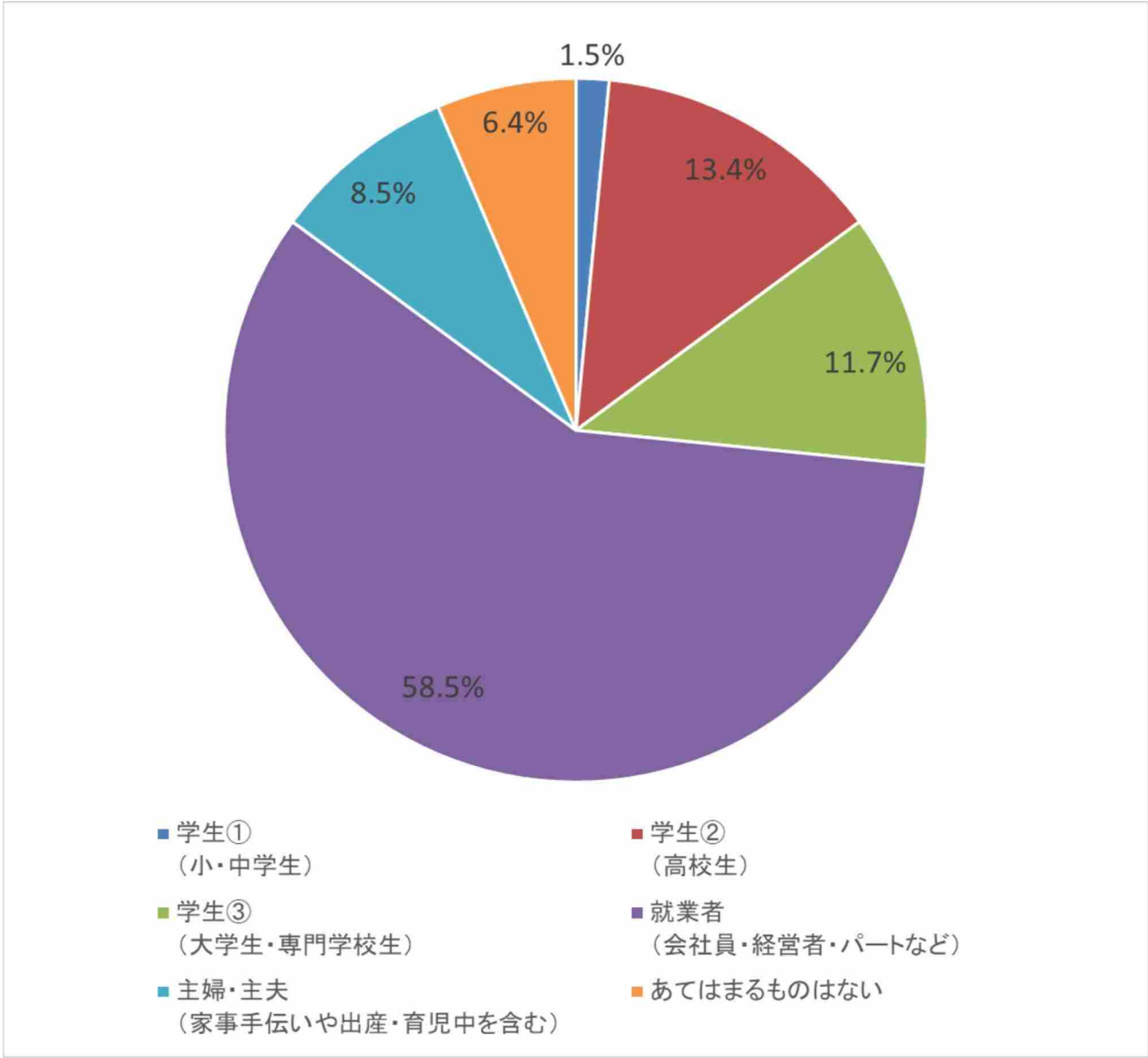
- ・身近に建設業で働いている人がいる
- ・家の建築や修理などを依頼した
- ・冬期間の除雪を依頼した
- ・建設会社のCM（テレビ）を見た
- ・SNS（YoutubeやInstagram等）の投稿を見た
- ・学校で建設業に関する授業を受けた
- ・建設業を紹介したパンフレットやポスターを見た
- ・建設工事の現場見学会に参加した
- ・建設業の職業体験イベントに参加した
- ・あてはまるものはない

Q5.札幌市では、建設業（建設産業）の動画広告やホームページを実施しています。

下記の内、見たことがあるものを教えてください。

- ・YouTube「さっぽろけんせつガイド」
- ・Instagram「さっぽろけんせつガイド」
- ・X「さっぽろけんせつガイド」
- ・ホームページ「さっぽろけんせつガイド」

Q1.あなたの立場を教えてください

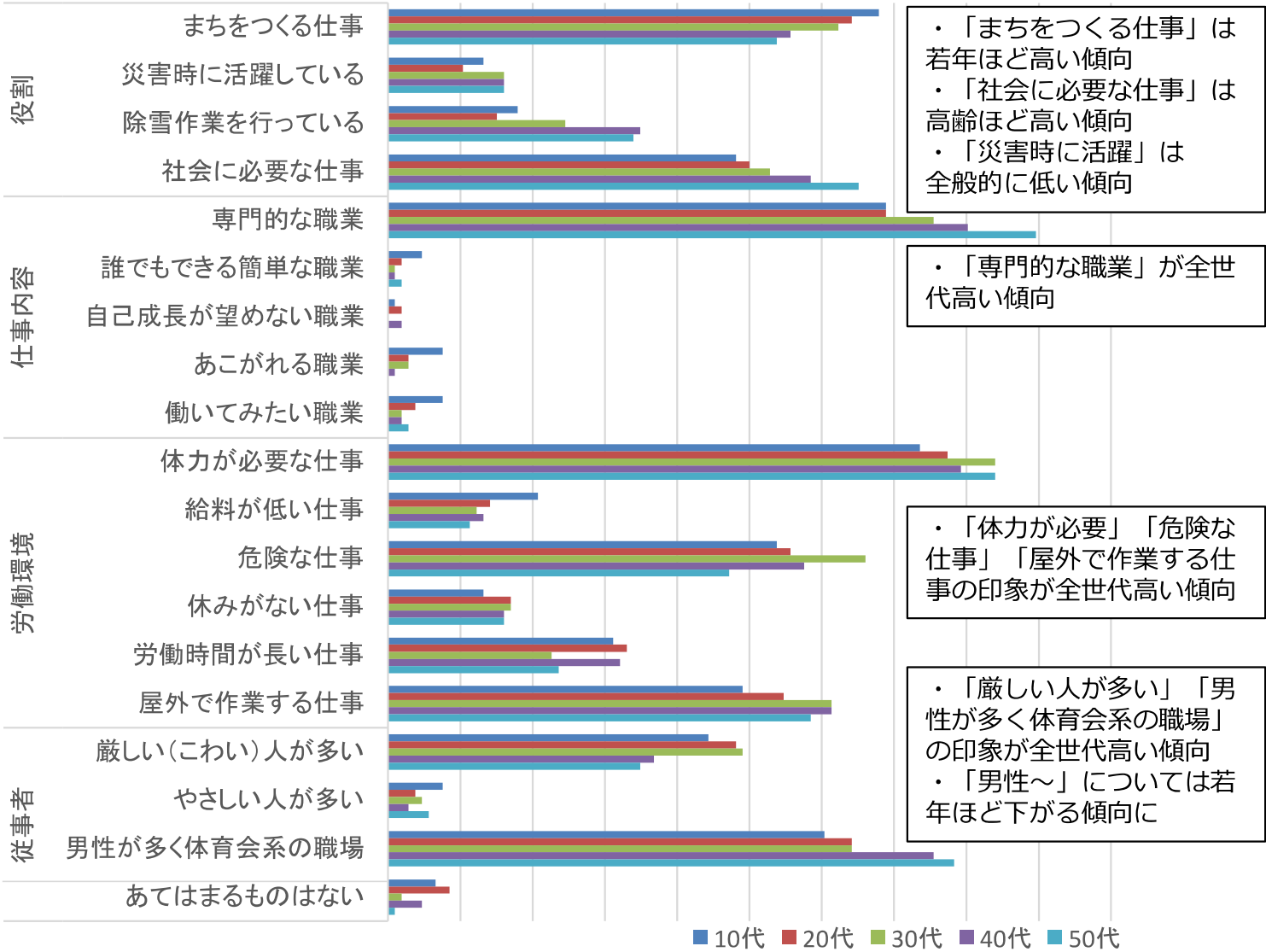


項目	人数	比率
学生①（小・中学生）	8	1.5%
学生②（高校生）	71	13.4%
学生③（大学生・専門学校生）	62	11.7%
就業者（会社員・経営者・パートなど）	310	58.5%
主婦・主夫（家事手伝いや出産・育児中を含む）	45	8.5%
あてはまるものはない	34	6.4%
合計	530	100%

LINEアンケート

Q3.建設業（建設産業）に対するイメージを教えてください。
（いくつでも）

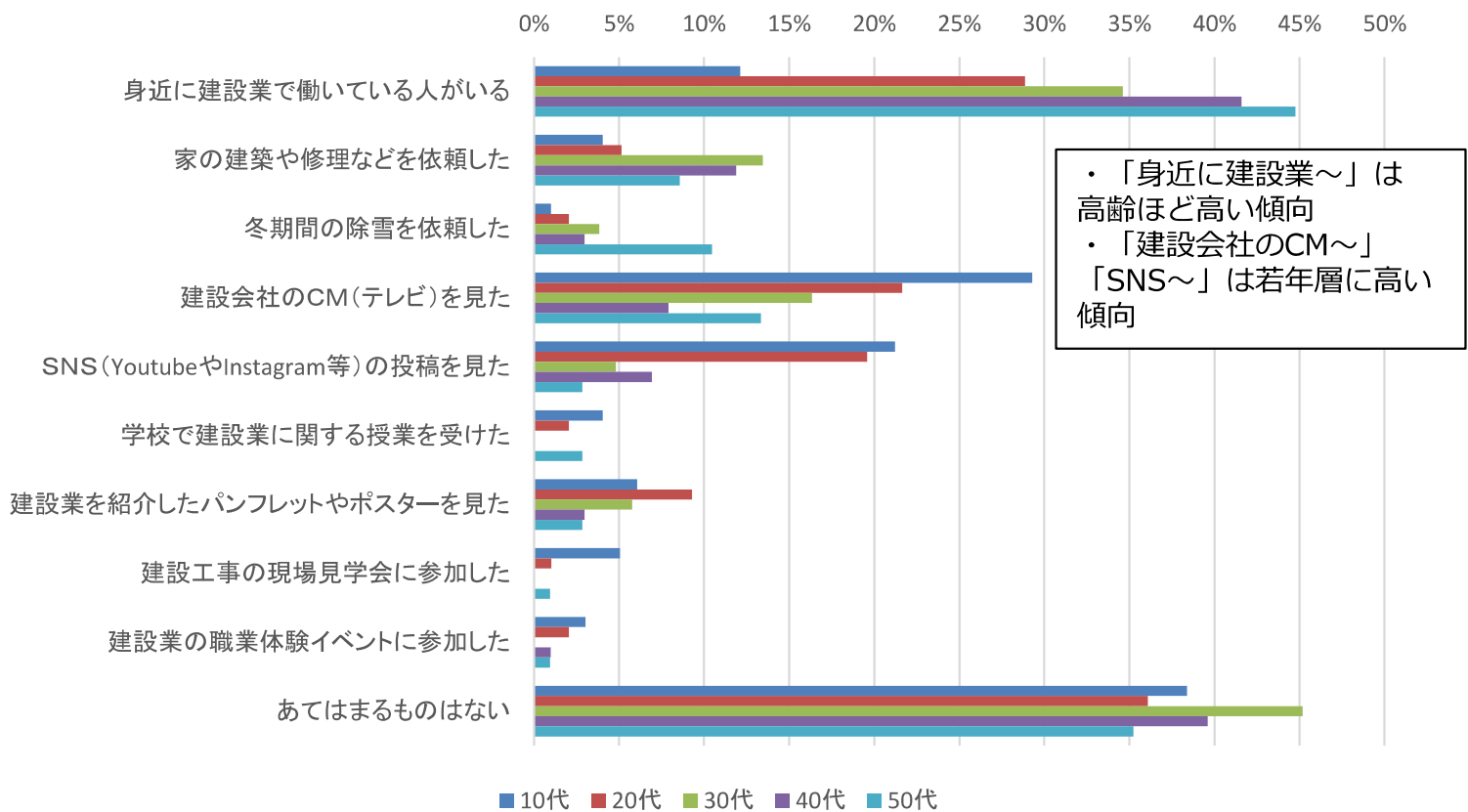
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



項目	10代		20代		30代		40代		50代	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
まちをつくる仕事	72	67.9%	68	64.2%	66	62.3%	59	55.7%	57	53.8%
災害時に活躍している	14	13.2%	11	10.4%	17	16.0%	17	16.0%	17	16.0%
除雪作業を行っている	19	17.9%	16	15.1%	26	24.5%	37	34.9%	36	34.0%
社会に必要な仕事	51	48.1%	53	50.0%	56	52.8%	62	58.5%	69	65.1%
専門的な職業	73	68.9%	73	68.9%	80	75.5%	85	80.2%	95	89.6%
誰でもできる簡単な職業	5	4.7%	2	1.9%	1	0.9%	1	0.9%	2	1.9%
自己成長が望めない職業	1	0.9%	2	1.9%	0	0.0%	2	1.9%	0	0.0%
あこがれる職業	8	7.5%	3	2.8%	3	2.8%	1	0.9%	0	0.0%
働いてみたい職業	8	7.5%	4	3.8%	2	1.9%	2	1.9%	3	2.8%
体力が必要な仕事	78	73.6%	82	77.4%	89	84.0%	84	79.2%	89	84.0%
給料が低い仕事	22	20.8%	15	14.2%	13	12.3%	14	13.2%	12	11.3%
危険な仕事	57	53.8%	59	55.7%	70	66.0%	61	57.5%	50	47.2%
休みがない仕事	14	13.2%	18	17.0%	18	17.0%	17	16.0%	17	16.0%
労働時間が長い仕事	33	31.1%	35	33.0%	24	22.6%	34	32.1%	25	23.6%
屋外で作業する仕事	52	49.1%	58	54.7%	65	61.3%	65	61.3%	62	58.5%
厳しい(こわい)人が多い	47	44.3%	51	48.1%	52	49.1%	39	36.8%	37	34.9%
やさしい人が多い	8	7.5%	4	3.8%	5	4.7%	3	2.8%	6	5.7%
男性が多く体育会系の職場	64	60.4%	68	64.2%	68	64.2%	80	75.5%	83	78.3%
あてはまるものはない	7	6.6%	9	8.5%	2	1.9%	5	4.7%	1	0.9%

LINEアンケート

Q4.建設業（建設産業）に対する上記のイメージを持った理由（機会）を教えてください。（いくつでも）



項目	10代		20代		30代		40代		50代	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
身近に建設業で働いている人がいる	12	12.1%	28	28.9%	36	34.6%	42	41.6%	47	44.8%
家の建築や修理などを依頼した	4	4.0%	5	5.2%	14	13.5%	12	11.9%	9	8.6%
冬期間の除雪を依頼した	1	1.0%	2	2.1%	4	3.8%	3	3.0%	11	10.5%
建設会社のCM（テレビ）を見た	29	29.3%	21	21.6%	17	16.3%	8	7.9%	14	13.3%
S N S（YoutubeやInstagram等）の投稿を見た	21	21.2%	19	19.6%	5	4.8%	7	6.9%	3	2.9%
学校で建設業に関する授業を受けた	4	4.0%	2	2.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.9%
建設業を紹介したパンフレットやポスターを見た	6	6.1%	9	9.3%	6	5.8%	3	3.0%	3	2.9%
建設工事の現場見学会に参加した	5	5.1%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
建設業の職業体験イベントに参加した	3	3.0%	2	2.1%	0	0.0%	1	1.0%	1	1.0%
あてはまるものはない	38	38.4%	35	36.1%	47	45.2%	40	39.6%	37	35.2%

調査概要

1. 調査期間
令和6年11月22日～令和7年1月15日
2. 調査方法
下記のとおり
・基本設問は、WEBアンケート ※WEBを使えない場合は書面回答
3. 対象区分、回答数

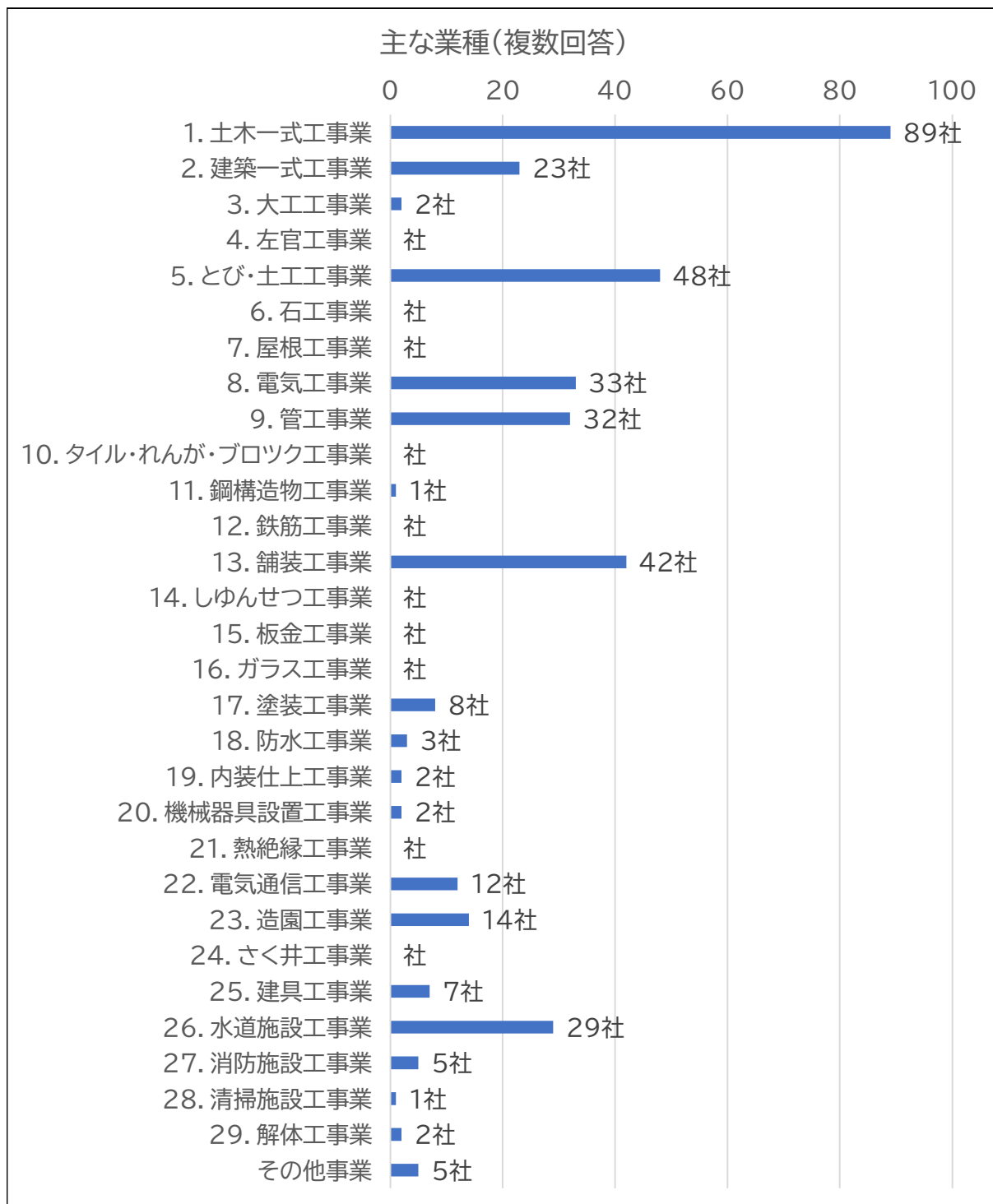
区分	回答数
企業(建設企業)	175社

1 基本情報

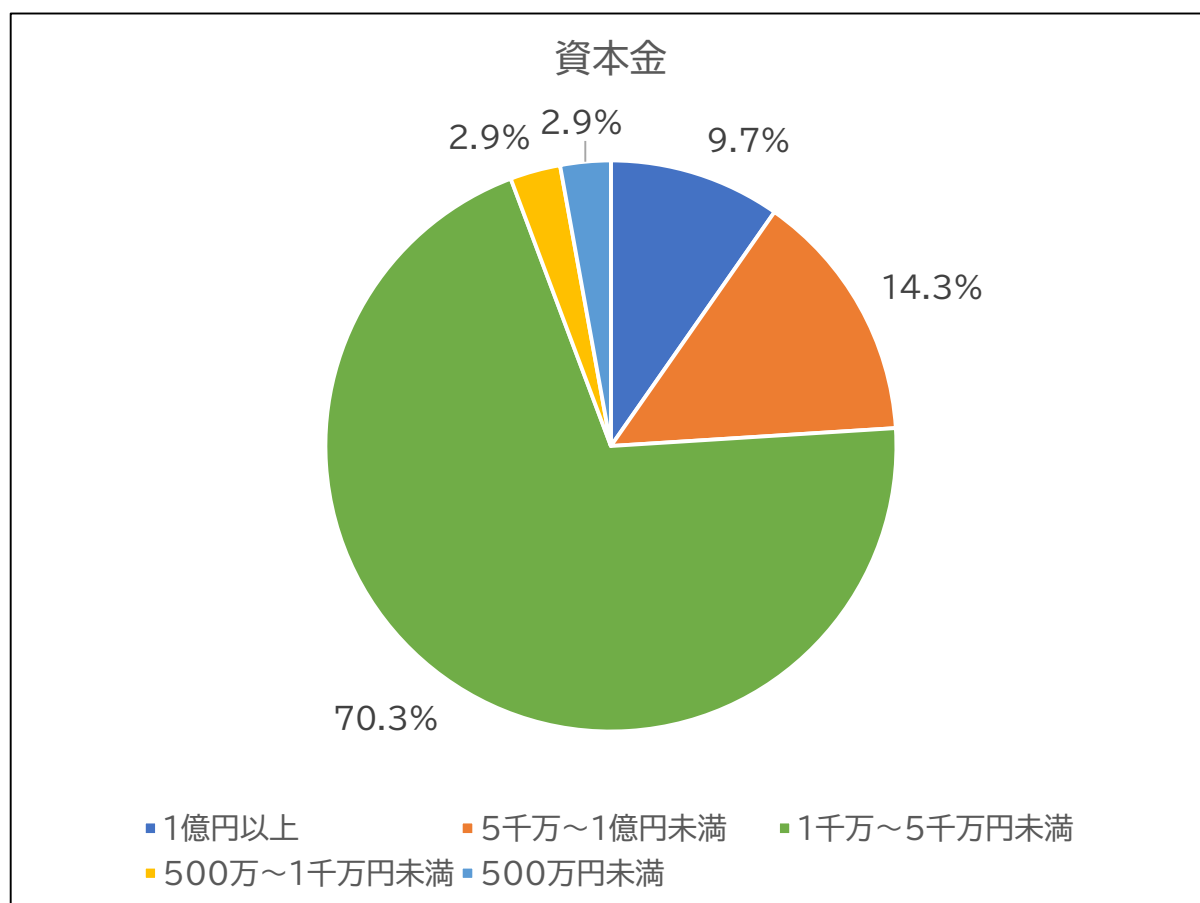
1-1 貴社の企業名を入力してください。

回答社数:175社

1-2 貴社の主な業種を選択してください。※複数選択可能



1-3 貴社の「資本金(R6.4.1 時点)」を選択してください。



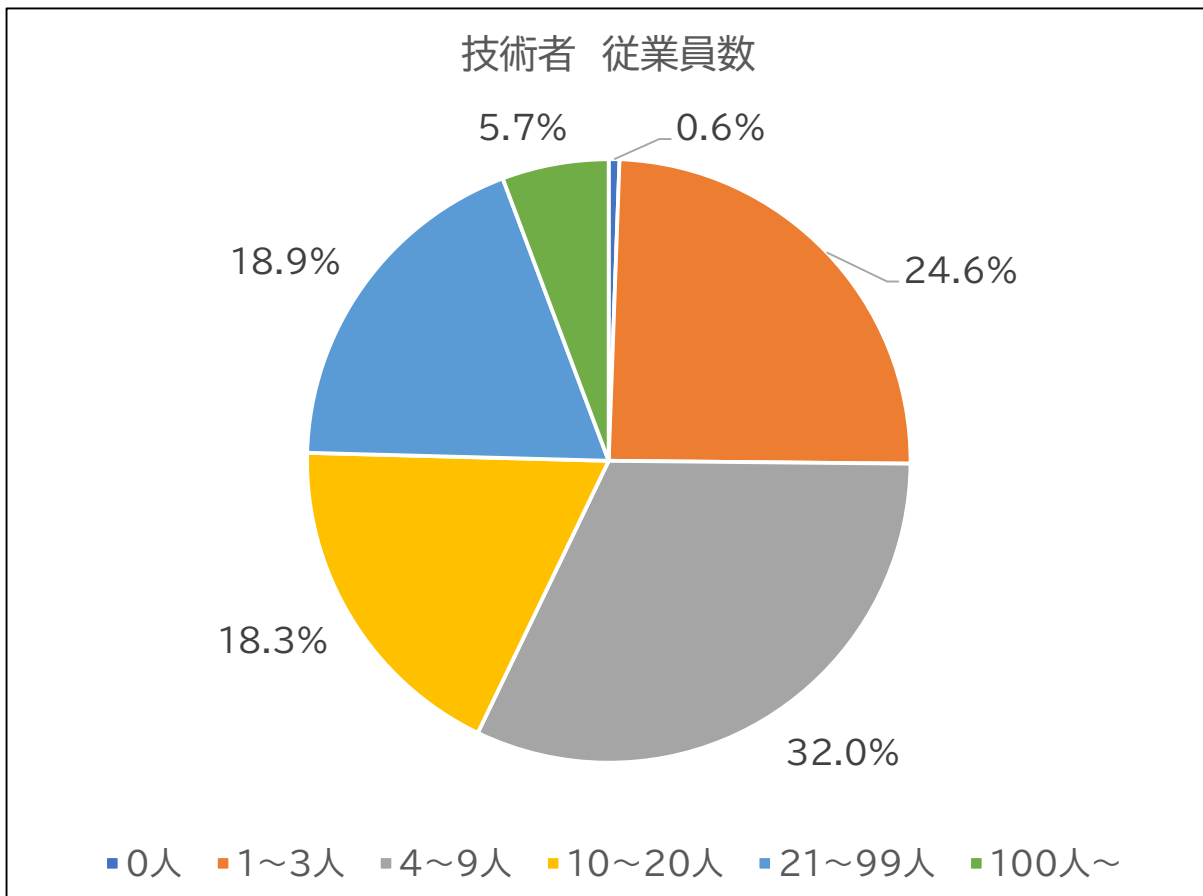
回答内容	件数	比率
1億円以上	17	9.7%
5千万～1億円未満	25	14.3%
1千万～5千万円未満	123	70.3%
500万～1千万円未満	5	2.9%
500万円未満	5	2.9%

回答社数

175 社

1-4-1 貴社の「技術者」の「従業員数(R6.4.1 時点)」を入力してください。

※従業員数は、「正規雇用」の人数としてください。



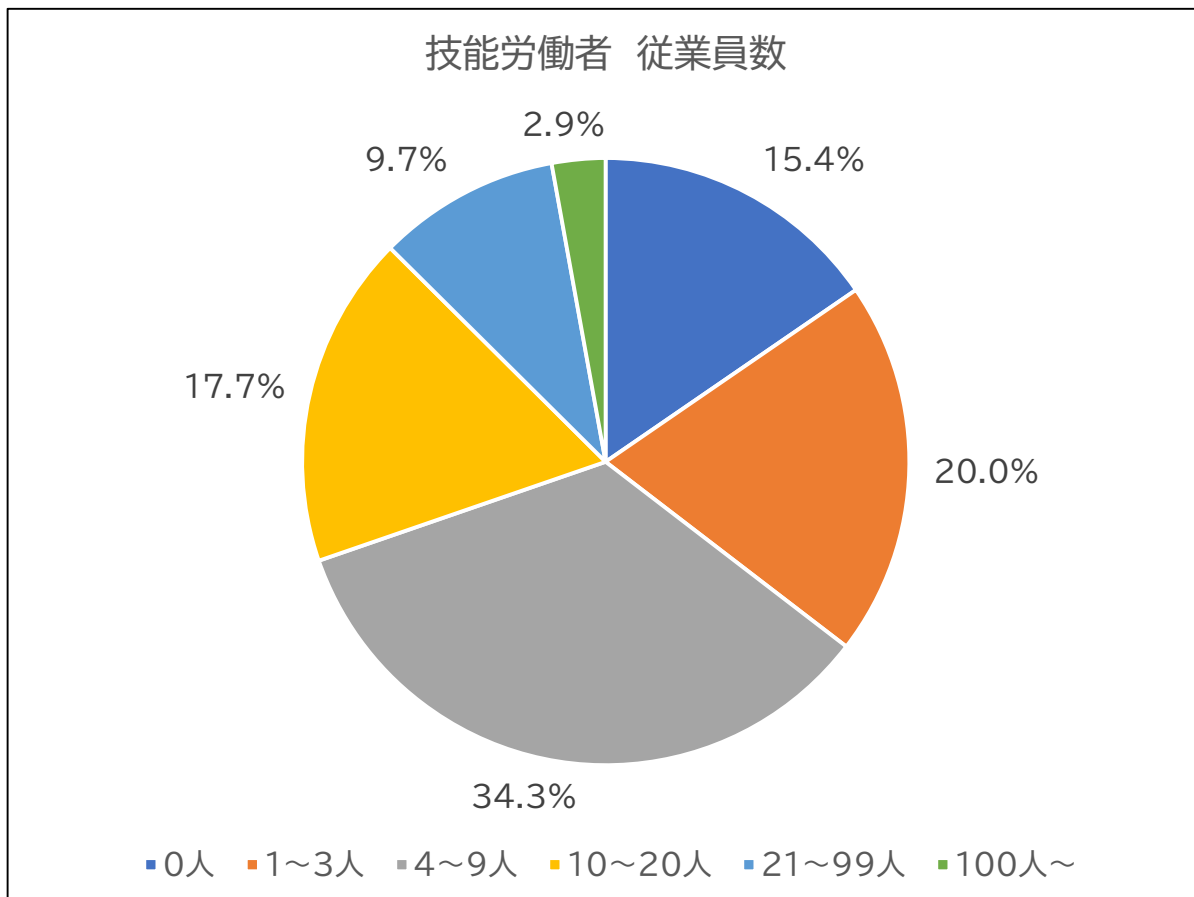
回答内容	件数	比率
0人	1	0.6%
1~3人	43	24.6%
4~9人	56	32.0%
10~20人	32	18.3%
21~99人	33	18.9%
100人~	10	5.7%

質問回答数

175 社

1-4-2 貴社の「技能労働者」の「従業員数(R6.4.1 時点)」を入力してください。

※従業員数は、「正規雇用」の人数としてください。



回答内容	件数	比率
0人	27	15.4%
1~3人	35	20.0%
4~9人	60	34.3%
10~20人	31	17.7%
21~99人	17	9.7%
100人~	5	2.9%

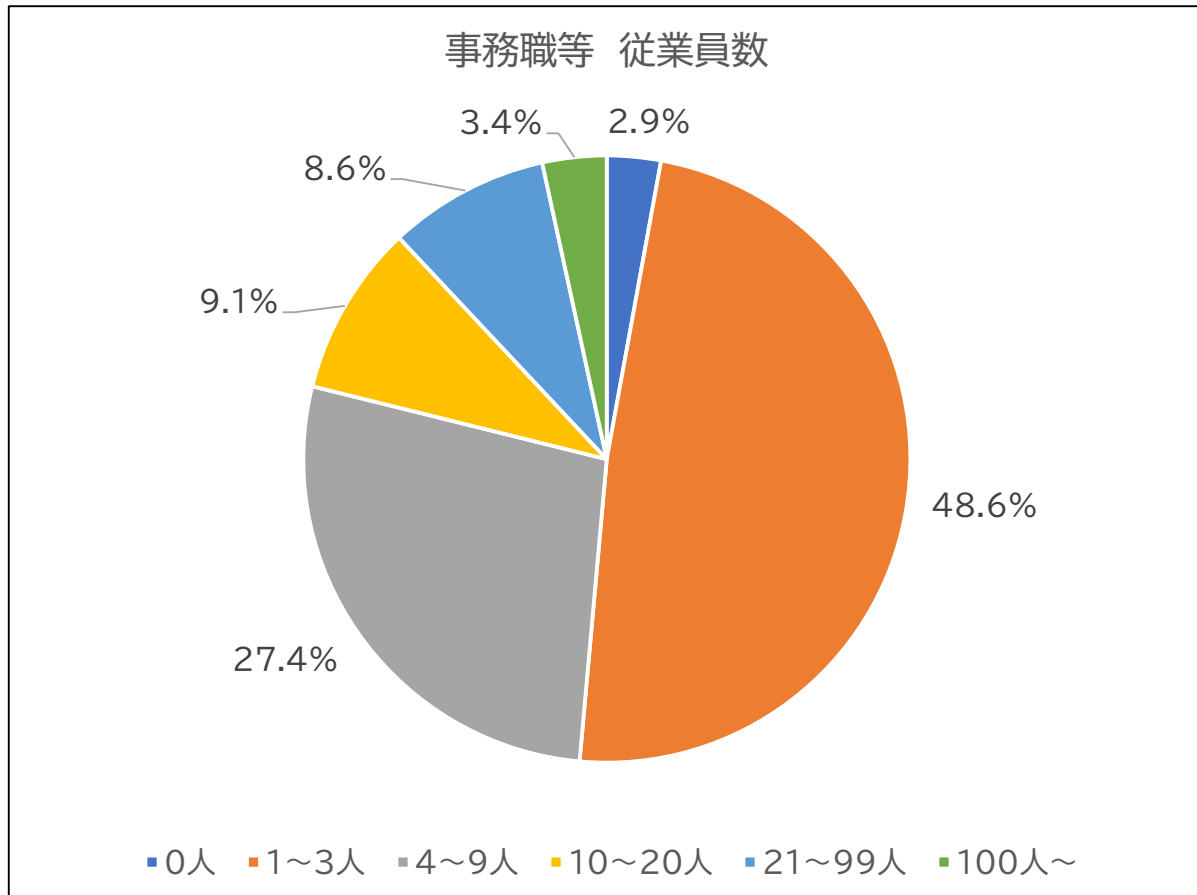
質問回答数

175 社

1-4-3 貴社の「事務職等※」の「従業員数(R6.4.1 時点)」を入力してください。

※役員など技術者以外の従業員を含む

※従業員数は、「正規雇用」の人数としてください。



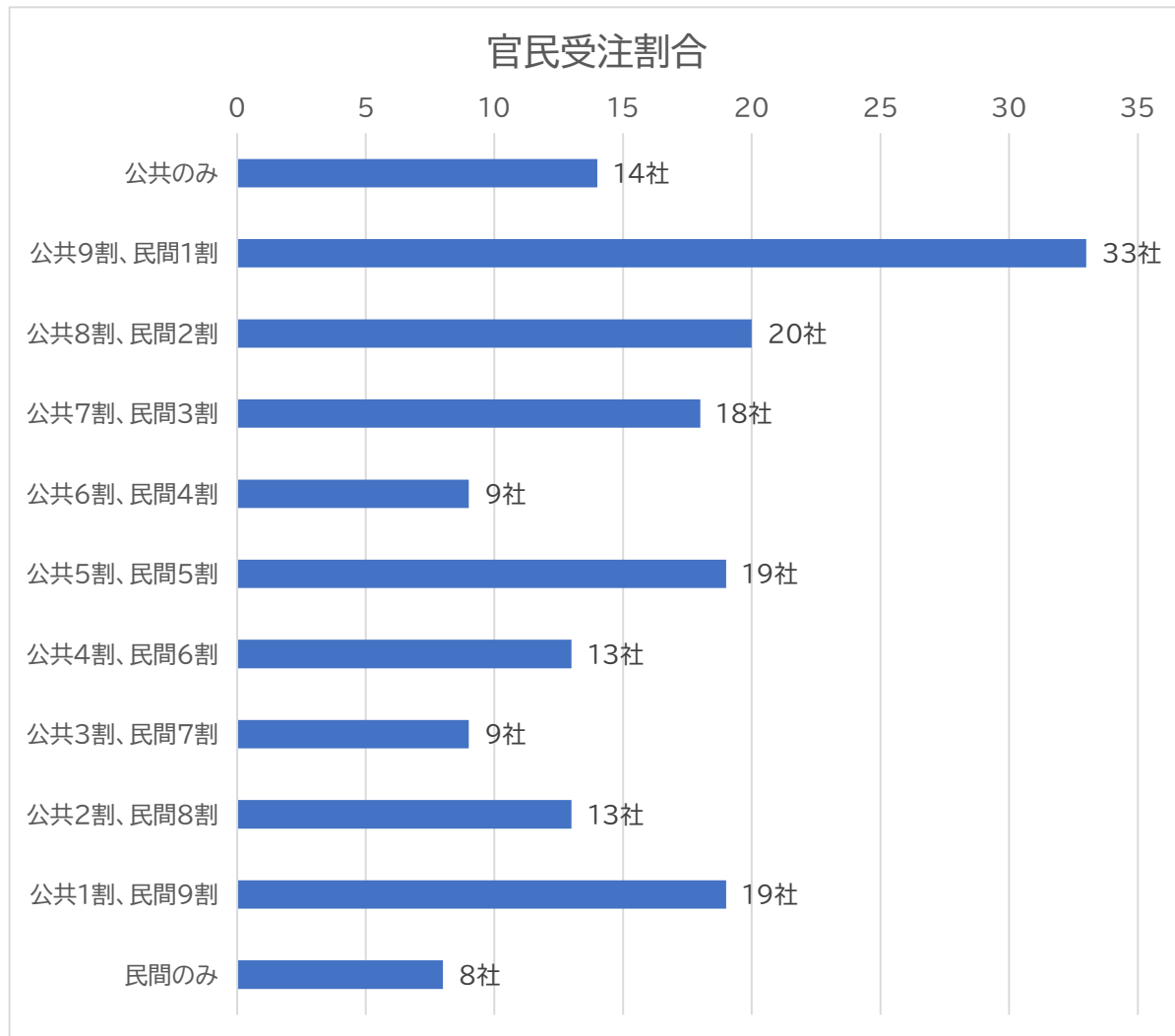
回答内容	件数	比率
0人	5	2.9%
1~3人	85	48.6%
4~9人	48	27.4%
10~20人	16	9.1%
21~99人	15	8.6%
100人~	6	0:49

質問回答数

175 社

1-5 貴社の受注実績について、公共発注と民間発注の「受注額割合」を選択してください

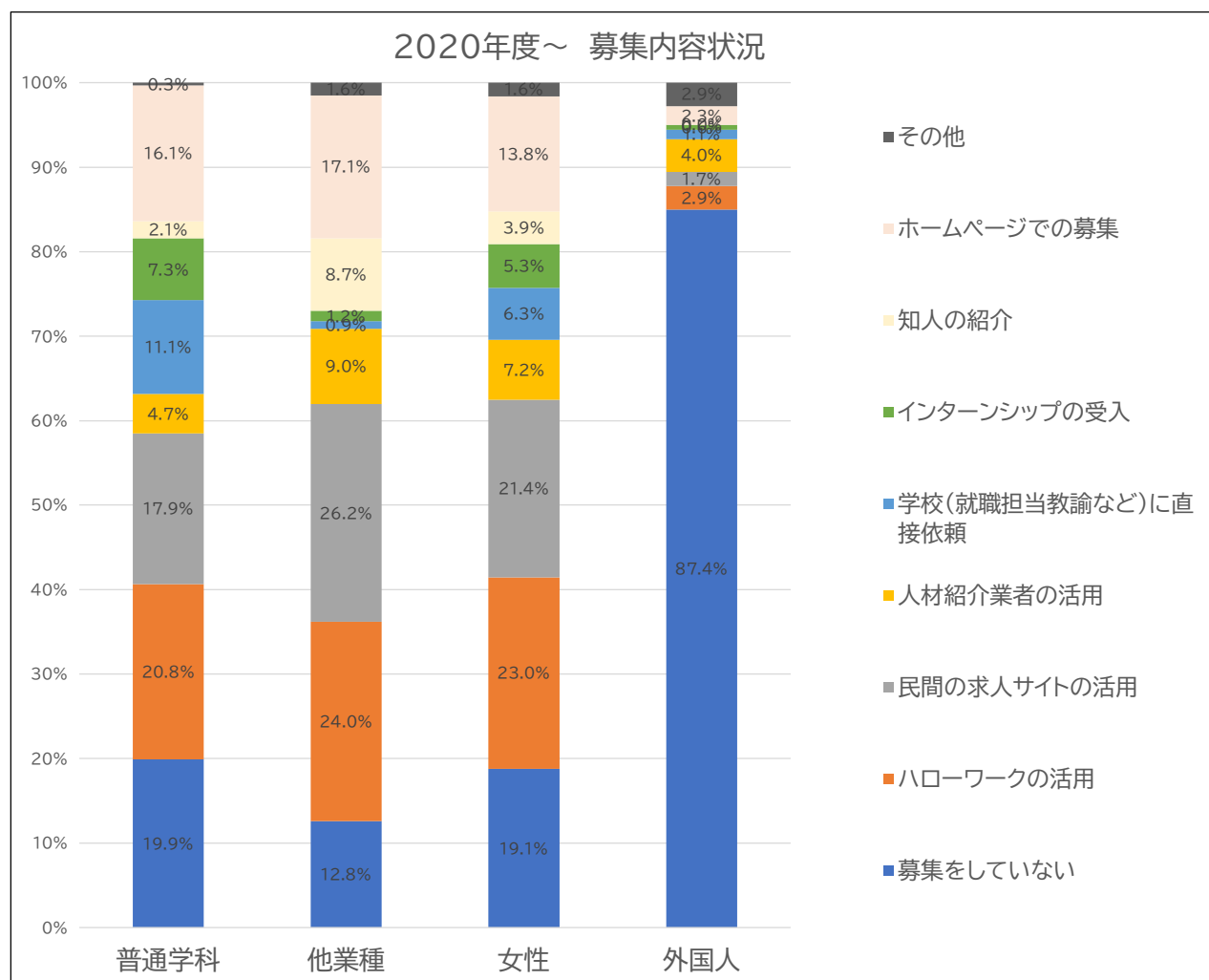
※受注額の割合は、2023 年度(R5.4.1～R6.3.31)の実績を記入してください。



回答内容	件数	比率
公共のみ	14	8.0%
公共9割、民間1割	33	18.9%
公共8割、民間2割	20	11.4%
公共7割、民間3割	18	10.3%
公共6割、民間4割	9	5.1%
公共5割、民間5割	19	10.9%
公共4割、民間6割	13	7.4%
公共3割、民間7割	9	5.1%
公共2割、民間8割	13	7.4%
公共1割、民間9割	19	10.9%
民間のみ	8	4.6%

質問回答数 175 社

2-4 2020年度(R2.4.1)以降に「普通学科の新卒者」「他業種からの転職者」「女性」「外国人」に対してそれぞれどのような募集を行いましたか。※複数選択可能



2020年度～ 募集状況	普通学科		他業種		女性		外国人	
回答内容	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
その他	1	0.3%	5	1.6%	5	1.6%	5	2.9%
インターンシップの受入	25	7.3%	4	1.2%	16	5.3%	1	0.6%
知人の紹介	7	2.1%	28	8.7%	12	3.9%	0	0.0%
学校(就職担当教諭など)に直接依頼	38	11.1%	3	0.9%	19	6.3%	2	1.1%
人材紹介業者の活用	16	4.7%	29	9.0%	22	7.2%	7	4.0%
ホームページでの募集	55	16.1%	55	17.1%	42	13.8%	4	2.3%
民間の求人サイトの活用	61	17.9%	84	26.2%	65	21.4%	3	1.7%
ハローワークの活用	71	20.8%	77	24.0%	70	23.0%	5	2.9%
募集をしていない	68	19.9%	41	12.8%	58	19.1%	153	87.4%
質問回答数	341		321		304		175	

3 働き方改革について

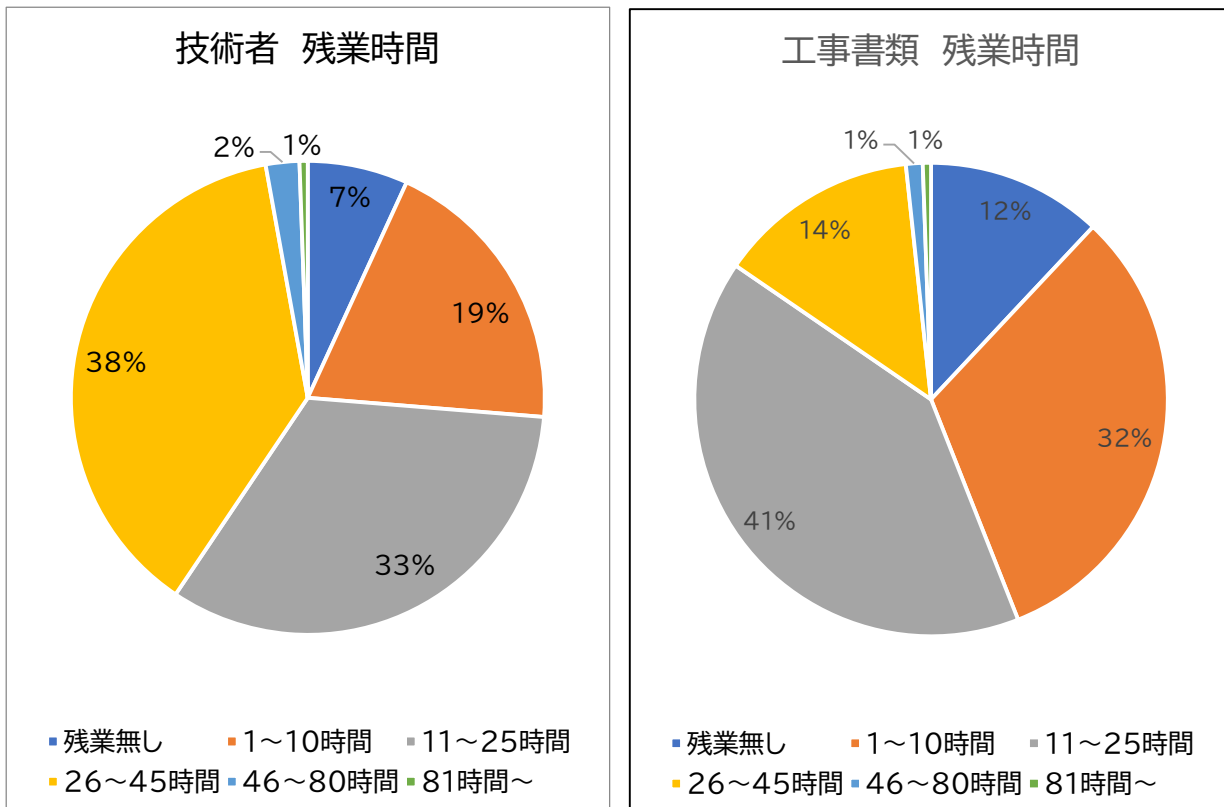
3-1 貴社の技術者(主に施工管理を行う者)の月平均残業時間を教えてください。

※技術者全体の平均残業時間を入力してください。

※2023 年度(R5.4.1～R6.3.31)の実績を入力してください。

3-1-1 上記技術者の月平均残業時間の内、工事書類の作成に係る時間はどのくらいでしょうか。

※会社で把握している範囲で入力してください。

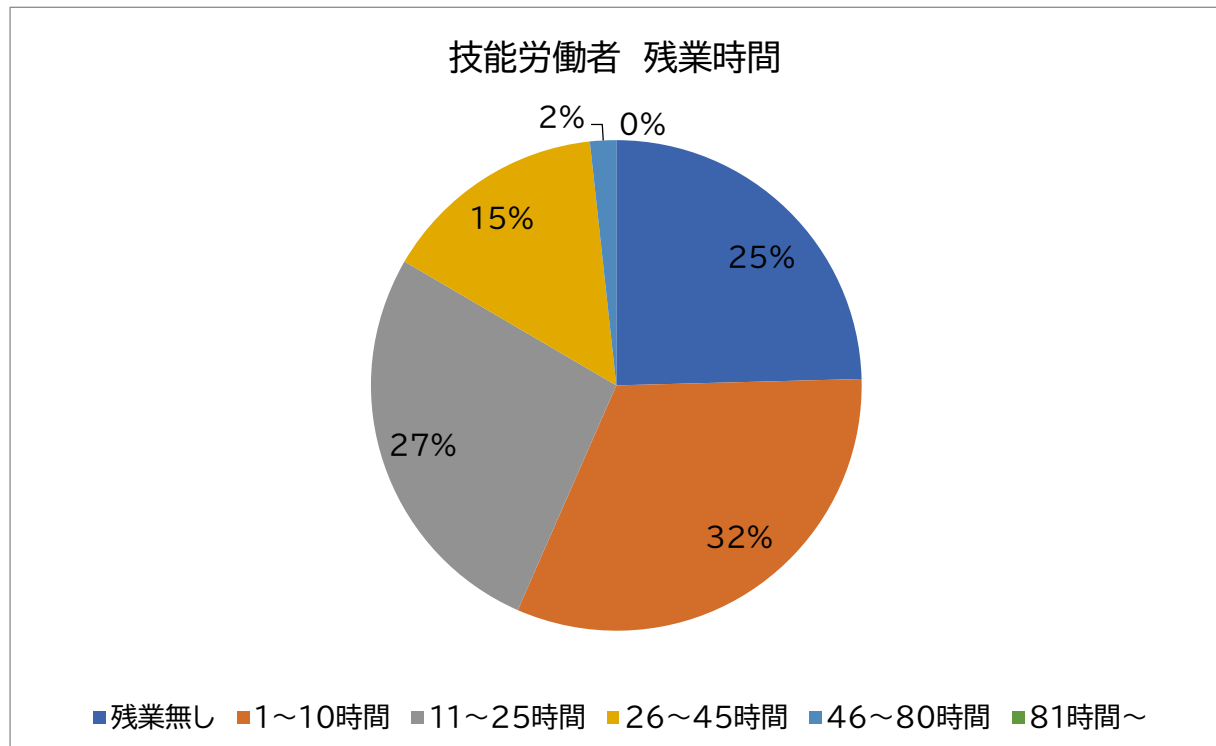


回答内容	技術者 残業時間		工事書類 残業時間	
	件数	比率	件数	比率
残業無し	12	7%	21	12%
1～10時間	34	19%	56	32%
11～25時間	58	33%	71	41%
26～45時間	66	38%	24	14%
46～80時間	4	2%	2	1%
81時間～	1	1%	1	1%
質問の回答数	175	社	175	社

3-2 貴社の技能労働者（主に作業を行う者）の月平均残業時間を教えてください。

※技能労働者全体の平均残業時間を入力してください。

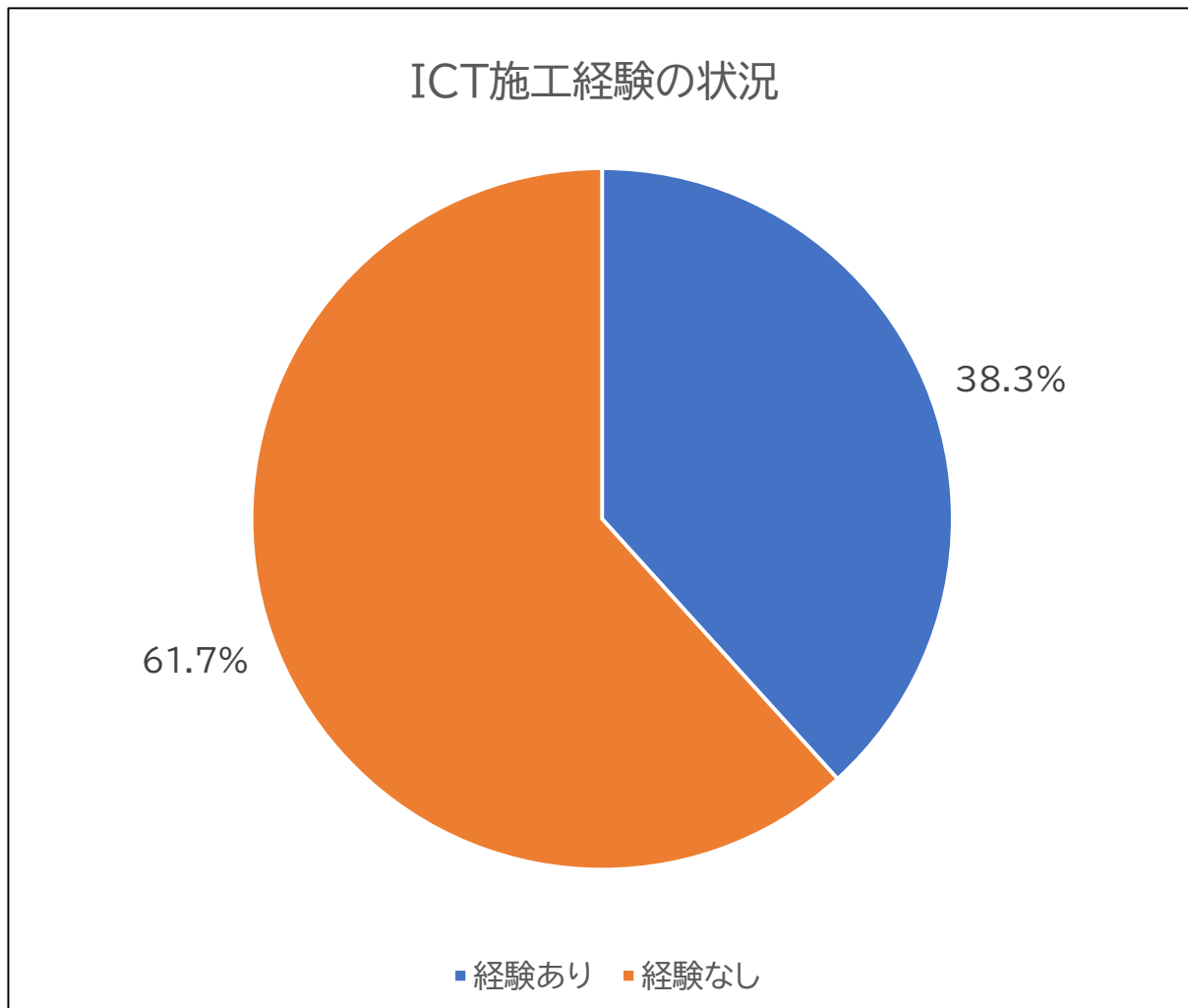
※2023 年度（R5.4.1～R6.3.31）の実績を入力してください。



回答内容	件数	比率
残業無し	43	25%
1～10時間	56	32%
11～25時間	47	27%
26～45時間	26	15%
46～80時間	3	2%
81時間～	0	0%
質問の回答数	175	社

4 生産性向上について

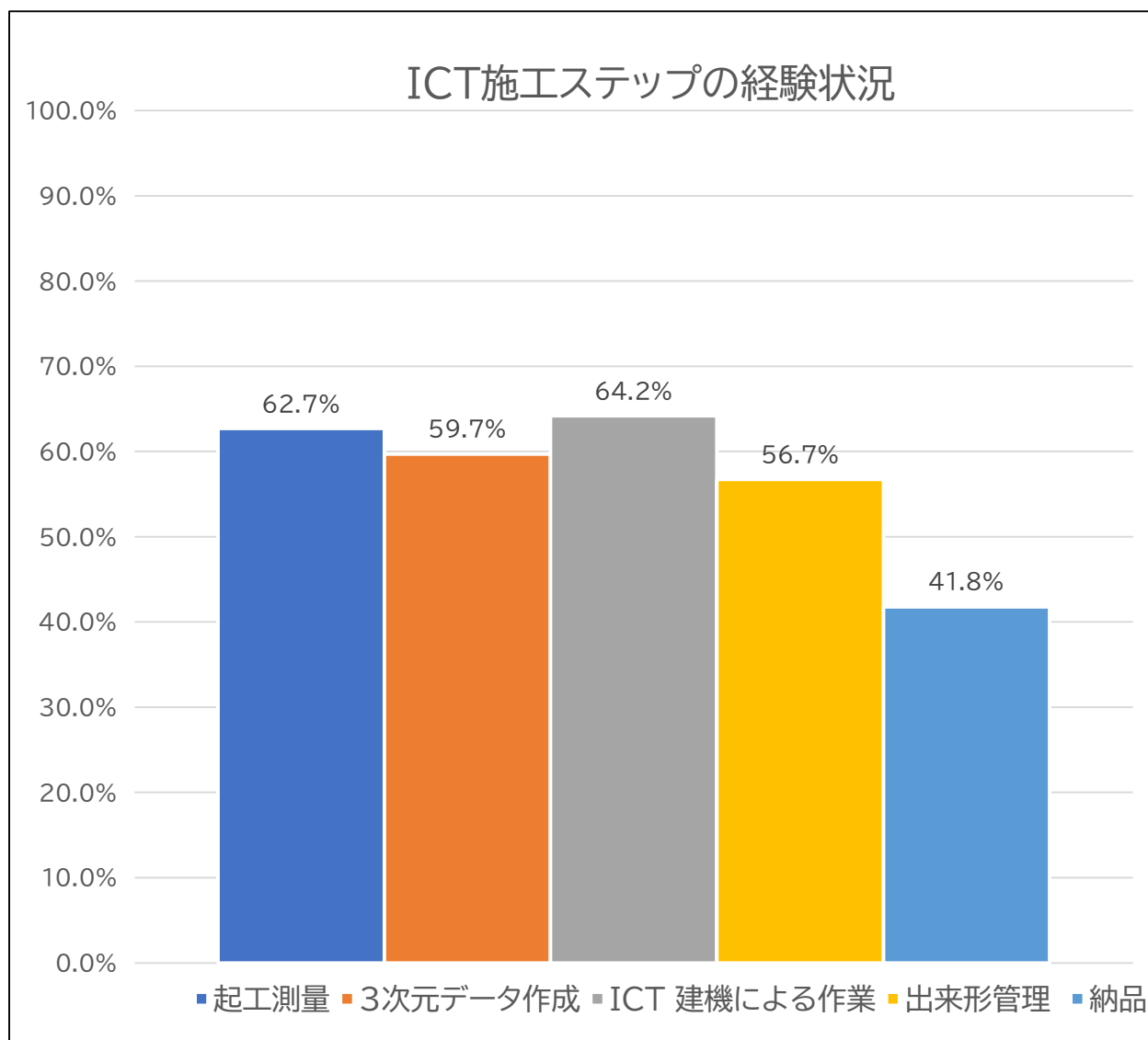
4-1 貴社の ICT 施工の経験状況を選択してください。



回答内容	件数	比率
経験あり	67	38.3%
経験なし	108	61.7%
質問回答数	175	社

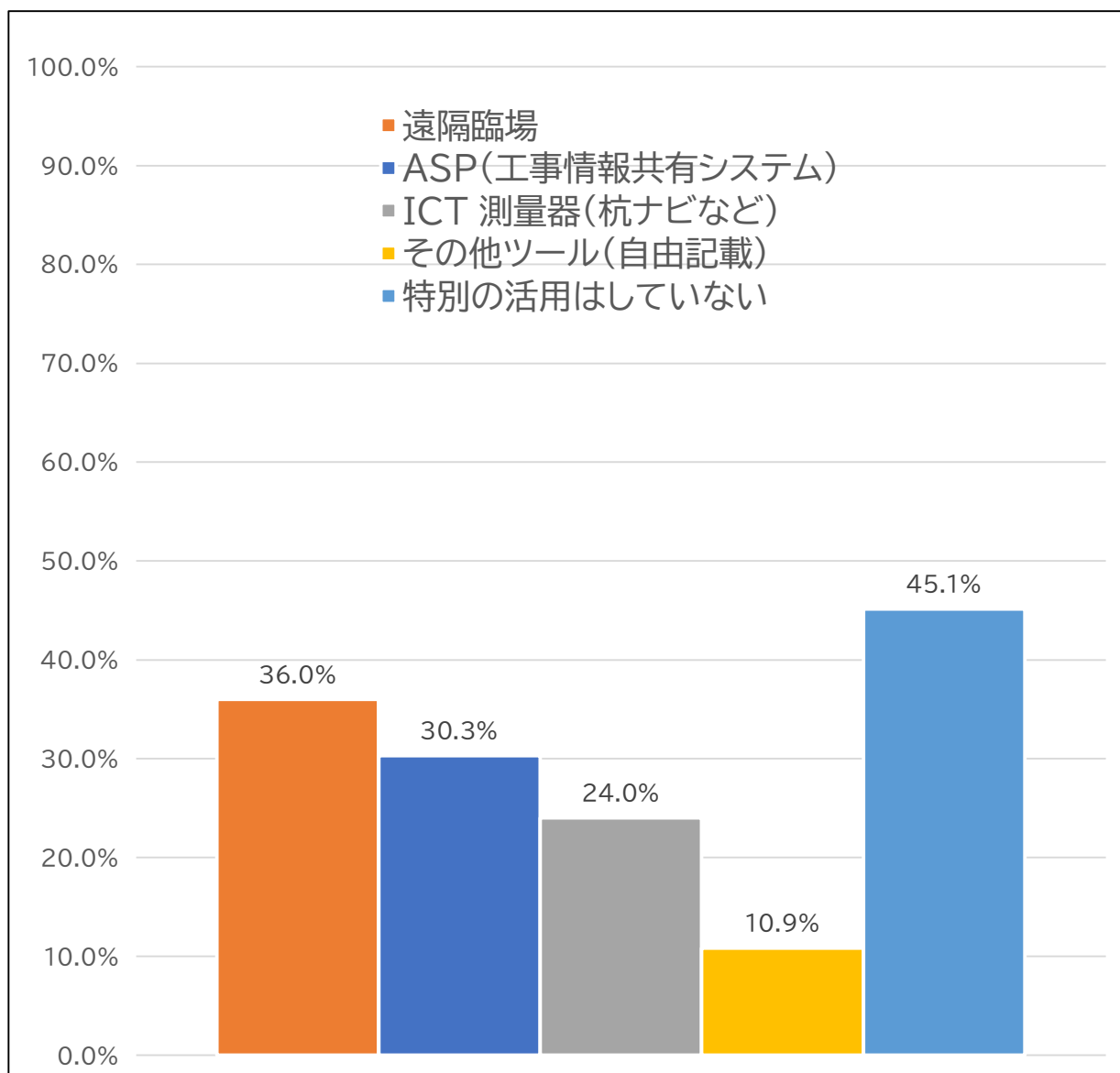
4-1-1 貴社で経験したことのある ICT 施工のステップを選択してください。

※複数選択可能



回答内容	件数	比率
起工測量	42	62.7%
3次元データ作成	40	59.7%
ICT 建機による作業	43	64.2%
出来形管理	38	56.7%
納品	28	41.8%
施工経験あり企業数	67	社

4-2貴社で活用しているデジタルツールを教えてください。 ※複数選択可能

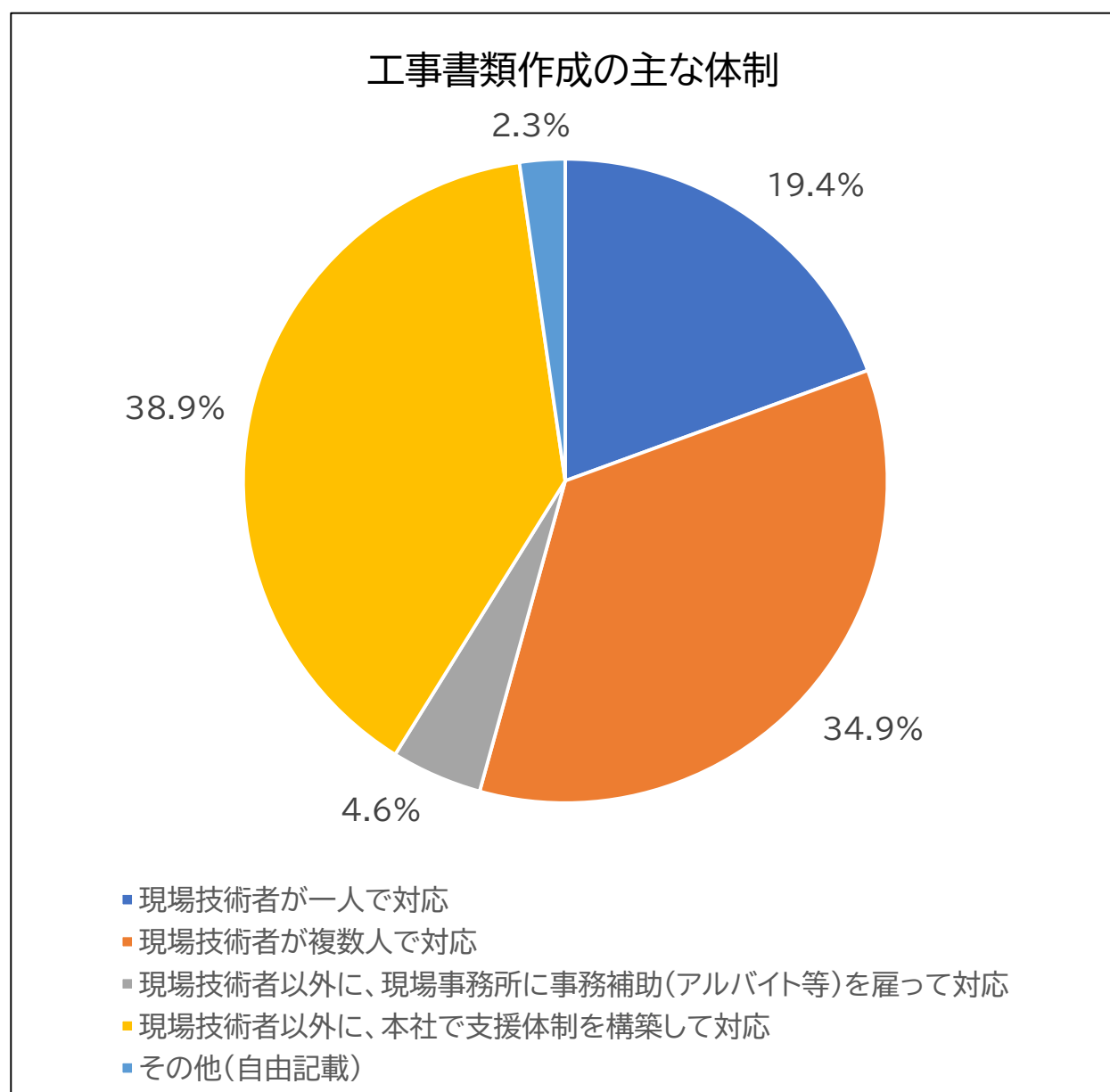


回答内容	件数	比率
遠隔臨場	63	36.0%
ASP(工事情報共有システム)	53	30.3%
ICT 測量器(杭ナビなど)	42	24.0%
その他ツール(自由記載)	19	10.9%
特別の活用はしていない	79	45.1%
回答会社数	175	社

その他意見(自由記載)

- キントーン
- 工事写真撮影パッド
- bildee、box、蔵衛門、SPIDERPLUS
- ドローンによる3次元測量
- RPA、写真管理クラウド
- ウェアラブルカメラ
- 3DCAD

4-3 貴社の工事書類作成の主な体制を教えてください。

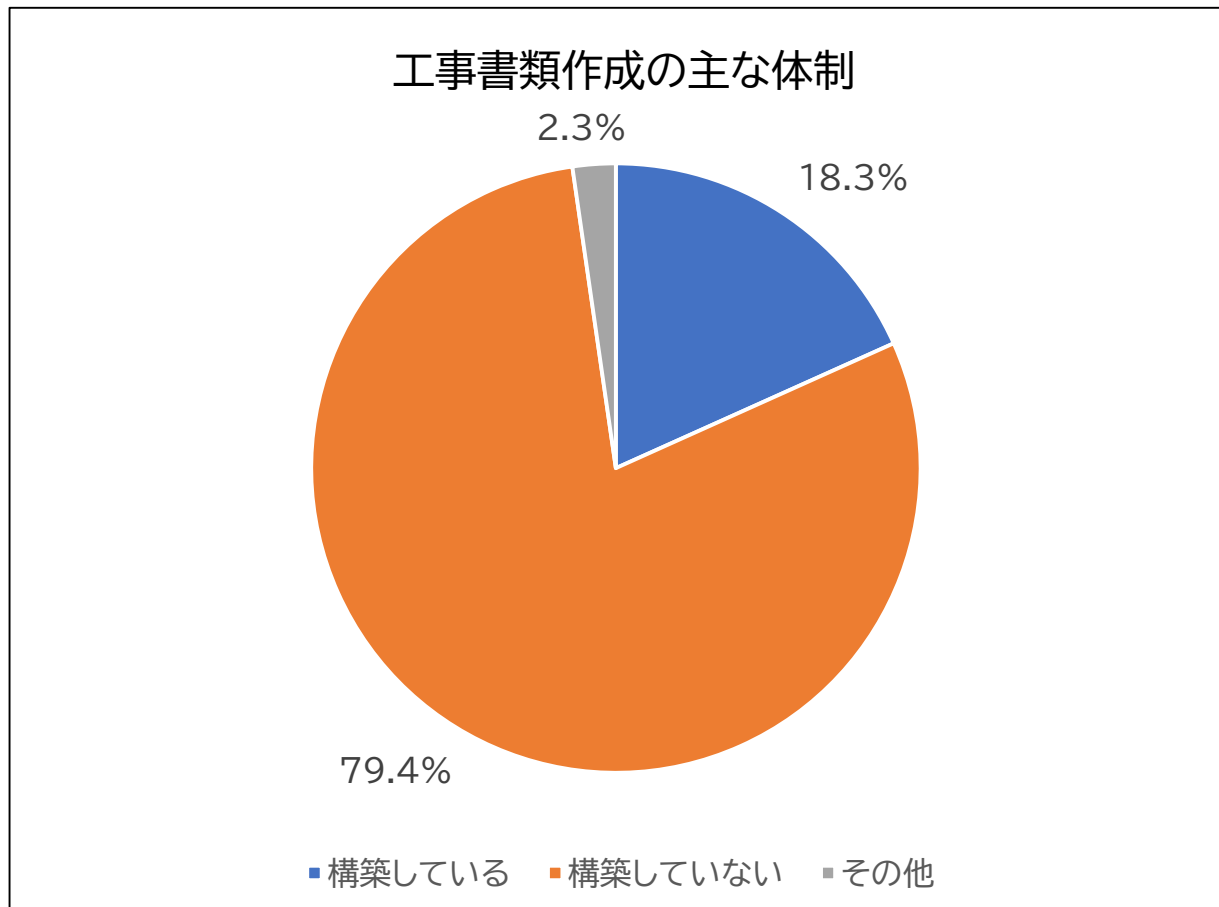


回答内容	件数	比率
現場技術者が一人に対応	34	19.4%
現場技術者が複数人に対応	61	34.9%
現場技術者以外に、現場事務所に事務補助(アルバイト等)を雇って対応	8	4.6%
現場技術者以外に、本社で支援体制を構築して対応	68	38.9%
その他(自由記載)	4	2.3%
質問回答数	175	社

その他意見(自由記載)

- 現場技術者1名及び工務担当者(社員1名)が現場を廻り対応している
- 現場技術者と事務職員の双方で対応

4-4書類作成のほか、3次元データの作成やドローンの活用など、現場技術者をバックオフィス(本社などの事務所)から支援する体制を構築していますか？



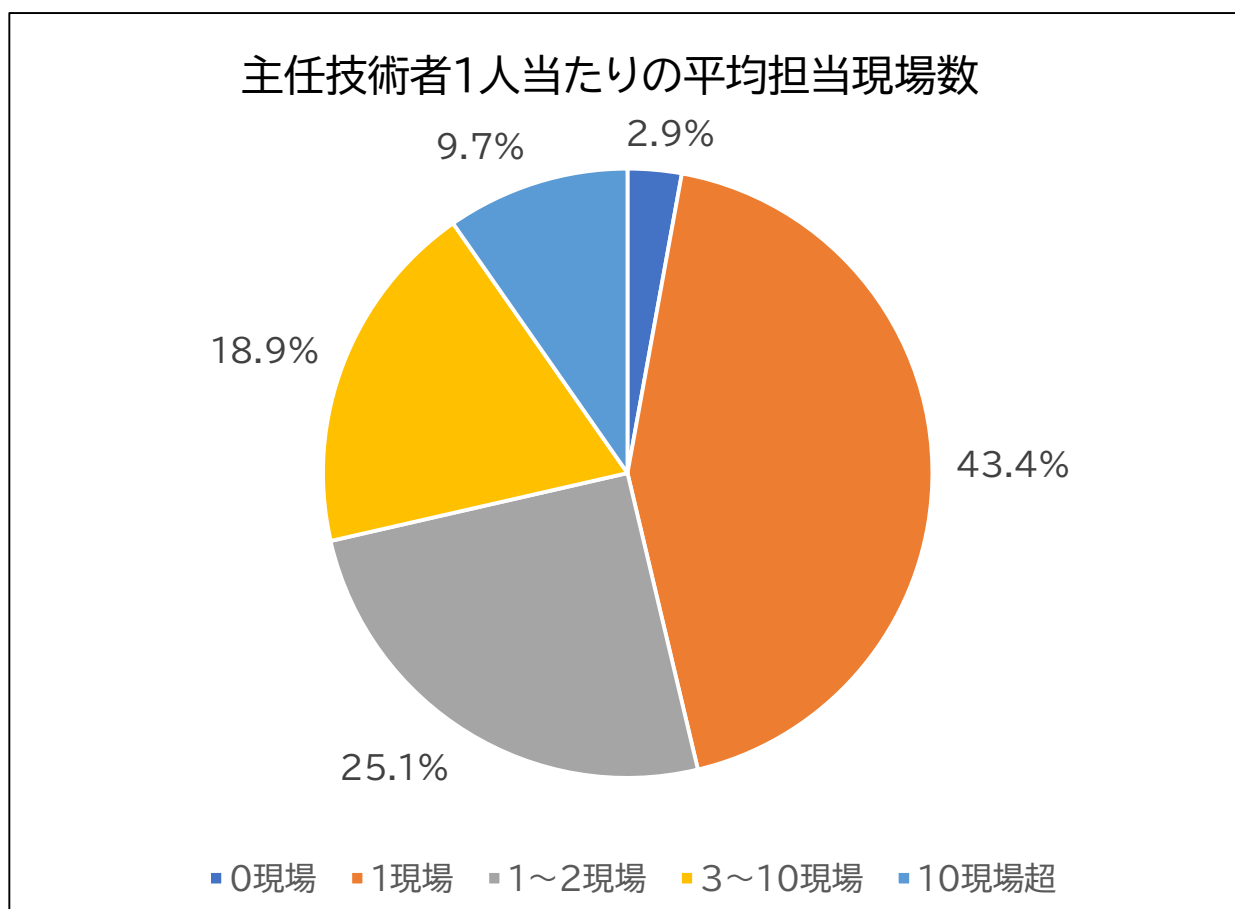
回答内容	件数	比率
構築している	32	18.3%
構築していない	139	79.4%
その他	4	2.3%

質問回答数 175 社

その他意見(自由記載)

- 検討中
- 現在構築中
- 現在バックオフィスとして本社に部署を設置したばかり
- 事務職員が着手前の工事ファイル作成をおこなうなど、現場技術者の負担軽減に努めています。

4-5主任技術者の資格を持っている従業員1人当たりの担当現場数を教えてください



回答内容	件数	比率
0現場	5	2.9%
1現場	76	43.4%
1～2現場	44	25.1%
3～10現場	33	18.9%
10現場超	17	9.7%
質問回答数	175	社

調査概要

1. 調査期間

令和6年11月22日～令和7年1月15日

2. 調査方法

下記のとおり

・基本設問は、WEBアンケート ※WEBを使えない場合は書面回答

3. 対象区分、回答数

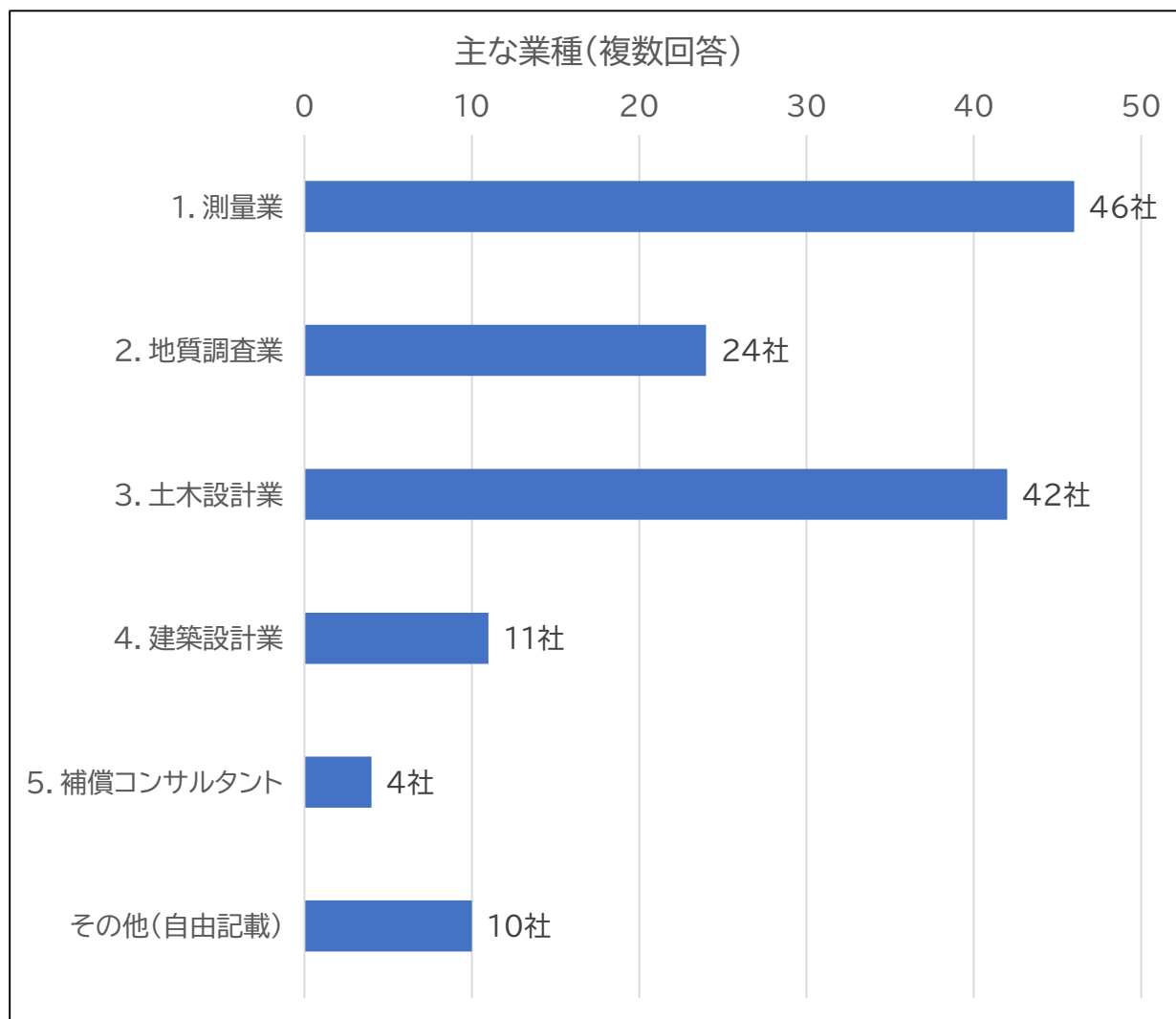
区分	回答数
企業(建設関連企業)	68社

1 基本情報

1-1 貴社の企業名を入力してください。

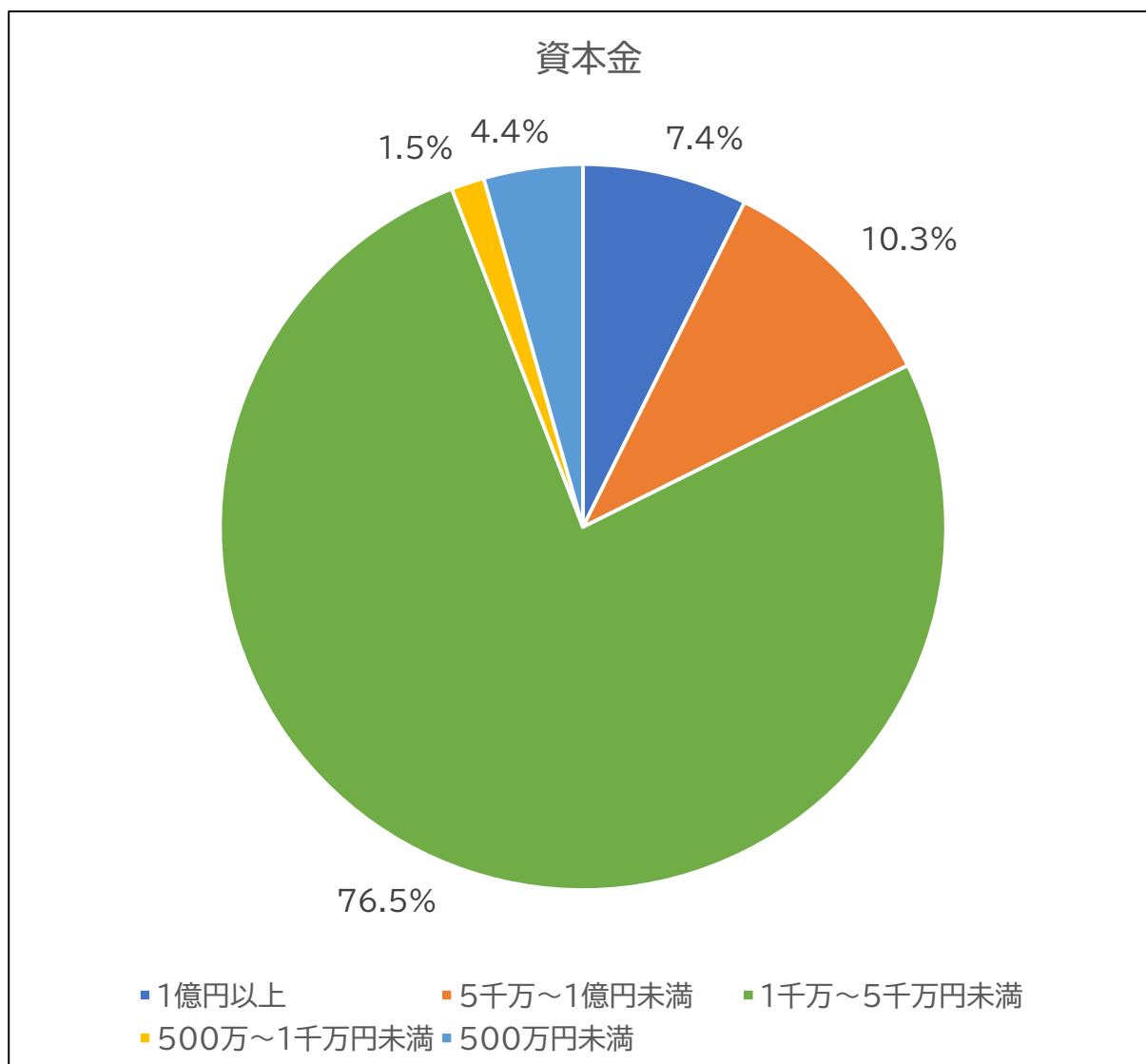
回答社数:68社

1-2 貴社の主な業種を選択してください。※複数選択可能



主な業種(複数回答)		
回答内容	件数	比率
1. 測量業	46	33.6%
2. 地質調査業	24	17.5%
3. 土木設計業	42	30.7%
4. 建築設計業	11	8.0%
5. 補償コンサルタント	4	2.9%
その他(自由記載)	10	7.3%
質問の回答数	68	社
重複回答数	137	

1-3 貴社の「資本金(R6.4.1 時点)」を選択してください。

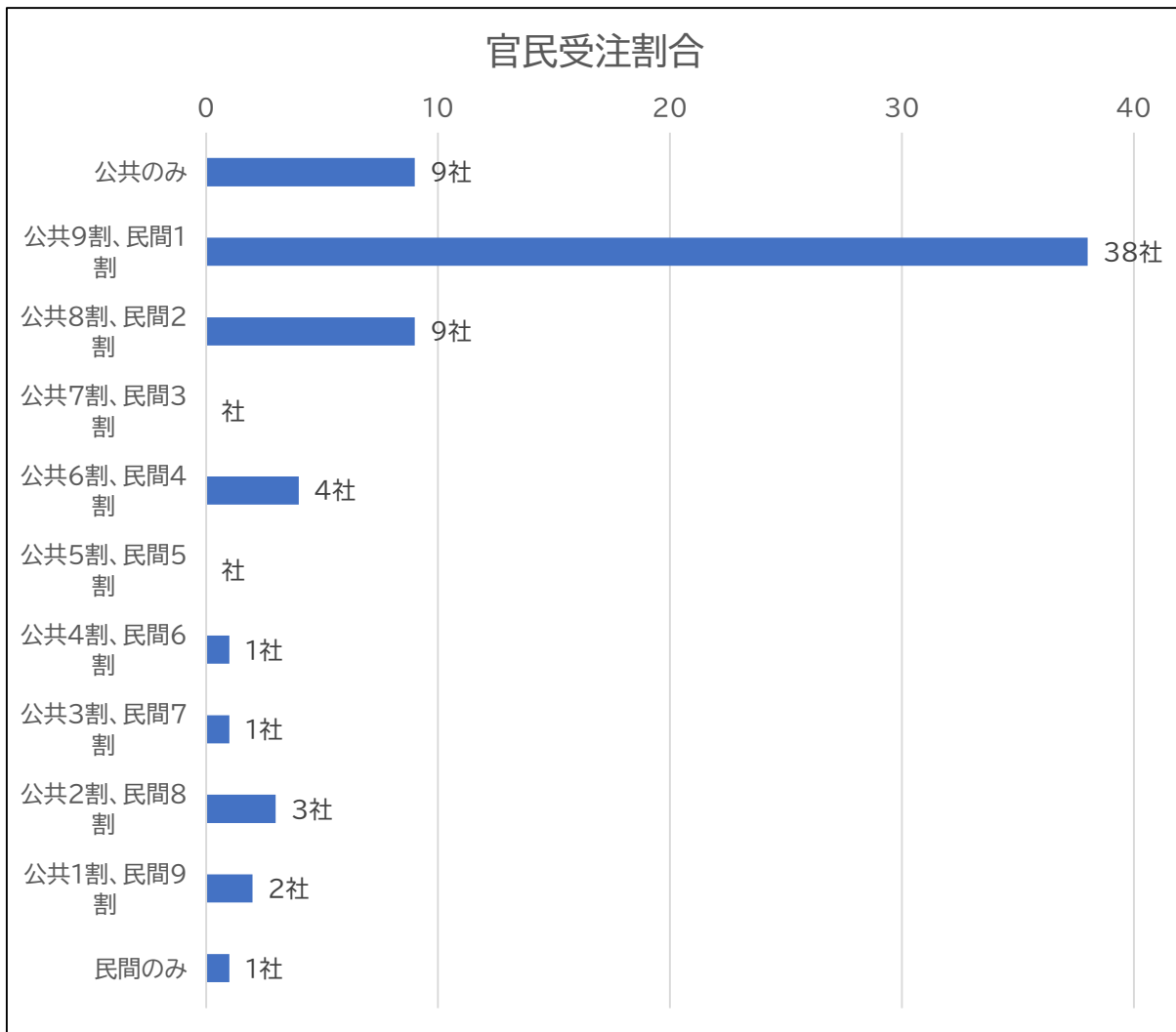


回答内容	件数	比率
1億円以上	5	7.4%
5千万～1億円未満	7	10.3%
1千万～5千万円未満	52	76.5%
500万～1千万円未満	1	1.5%
500万円未満	3	4.4%

回答社数 68 社

1-5 貴社の受注実績について、公共発注と民間発注の「受注額割合」を選択してください

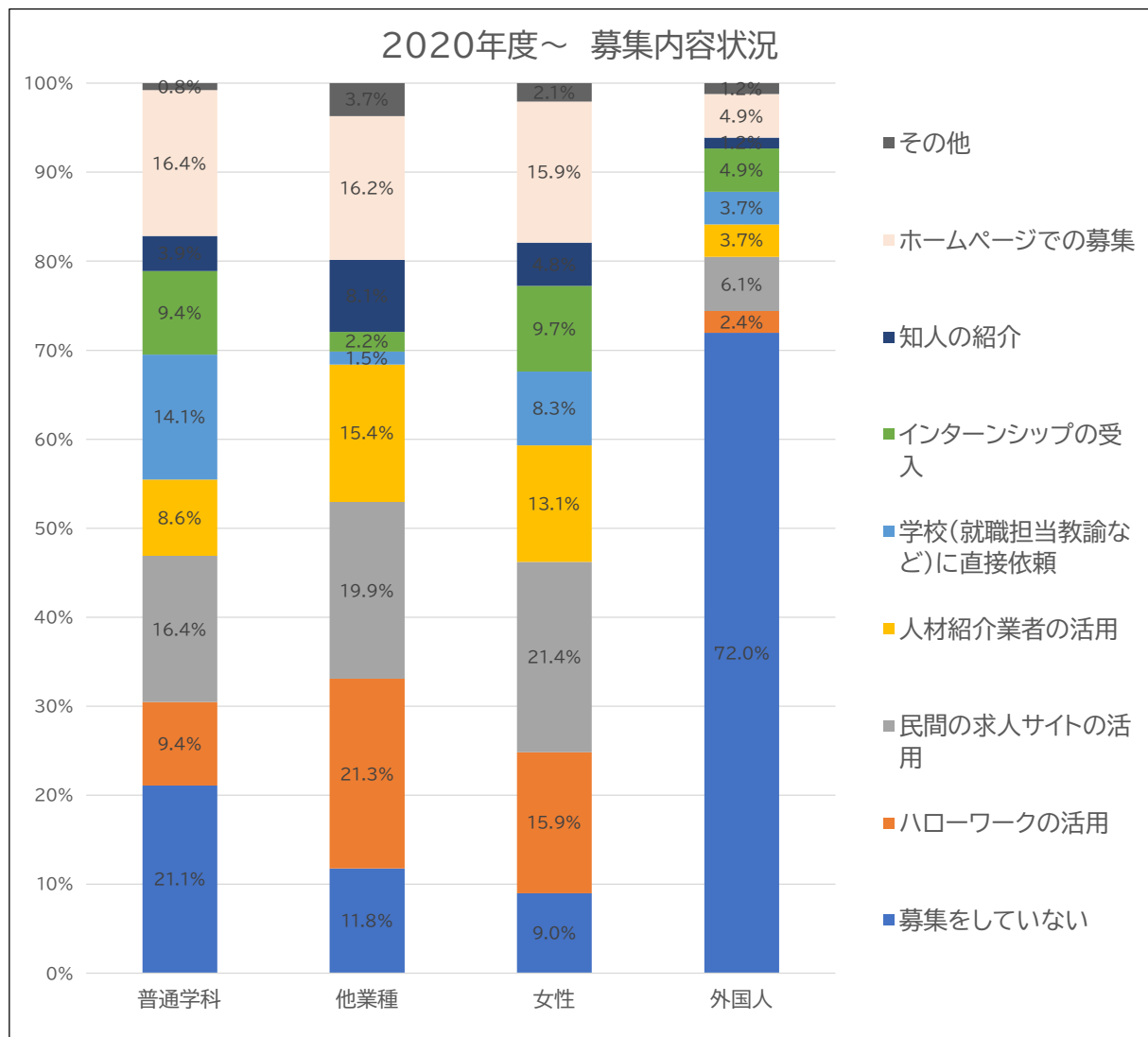
※受注額の割合は、2023 年度(R5.4.1～R6.3.31)の実績を記入してください。



回答内容	件数	比率
公共のみ	9	13.2%
公共9割、民間1割	38	55.9%
公共8割、民間2割	9	13.2%
公共7割、民間3割	0	0.0%
公共6割、民間4割	4	5.9%
公共5割、民間5割	0	0.0%
公共4割、民間6割	1	1.5%
公共3割、民間7割	1	1.5%
公共2割、民間8割	3	4.4%
公共1割、民間9割	2	2.9%
民間のみ	1	1.5%

68 社

2-4 2020 年度(R2.4.1)以降に「普通学科の新卒者」「他業種からの転職者」「女性」「外国人」に対してそれぞれどのような募集を行いましたか。※複数選択可能



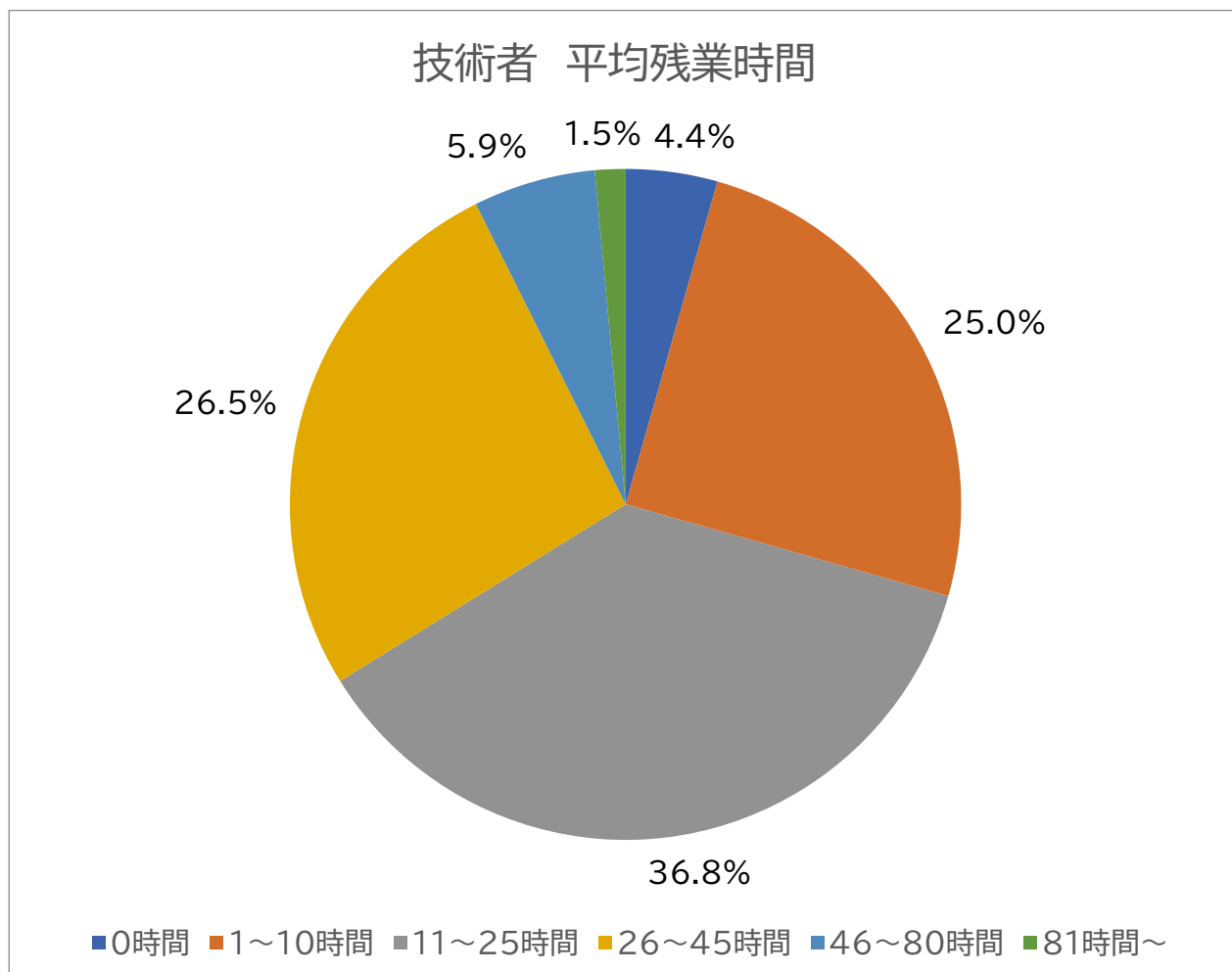
2020年度～ 募集状況	普通学科		他業種		女性		外国人	
回答内容	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
募集をしていない	27	21.1%	16	11.8%	13	9.0%	59	72.0%
ハローワークの活用	12	9.4%	29	21.3%	23	15.9%	2	2.4%
民間の求人サイトの活用	21	16.4%	27	19.9%	31	21.4%	5	6.1%
人材紹介業者の活用	11	8.6%	21	15.4%	19	13.1%	3	3.7%
学校(就職担当教諭など)に直接依頼	18	14.1%	2	1.5%	12	8.3%	3	3.7%
インターンシップの受入	12	9.4%	3	2.2%	14	9.7%	4	4.9%
知人の紹介	5	3.9%	11	8.1%	7	4.8%	1	1.2%
ホームページでの募集	21	16.4%	22	16.2%	23	15.9%	4	4.9%
その他	1	0.8%	5	3.7%	3	2.1%	1	1.2%
	128		136		145		82	

3 働き方改革について

3-1 貴社の技術者の月平均残業時間を教えてください。

※技術者全体の平均残業時間を入力してください。

※2023 年度(R5.4.1～R6.3.31)の実績を入力してください。



回答内容	件数	比率
0時間	3	4.4%
1～10時間	17	25.0%
11～25時間	25	36.8%
26～45時間	18	26.5%
46～80時間	4	5.9%
81時間～	1	1.5%

質問回答数

68

社

調査概要

1. 調査期間

令和6年11月22日～令和7年1月15日

2. 調査方法

下記のとおり

・基本設問は、WEBアンケート ※WEBを使えない場合は書面回答

3. 対象区分、回答数

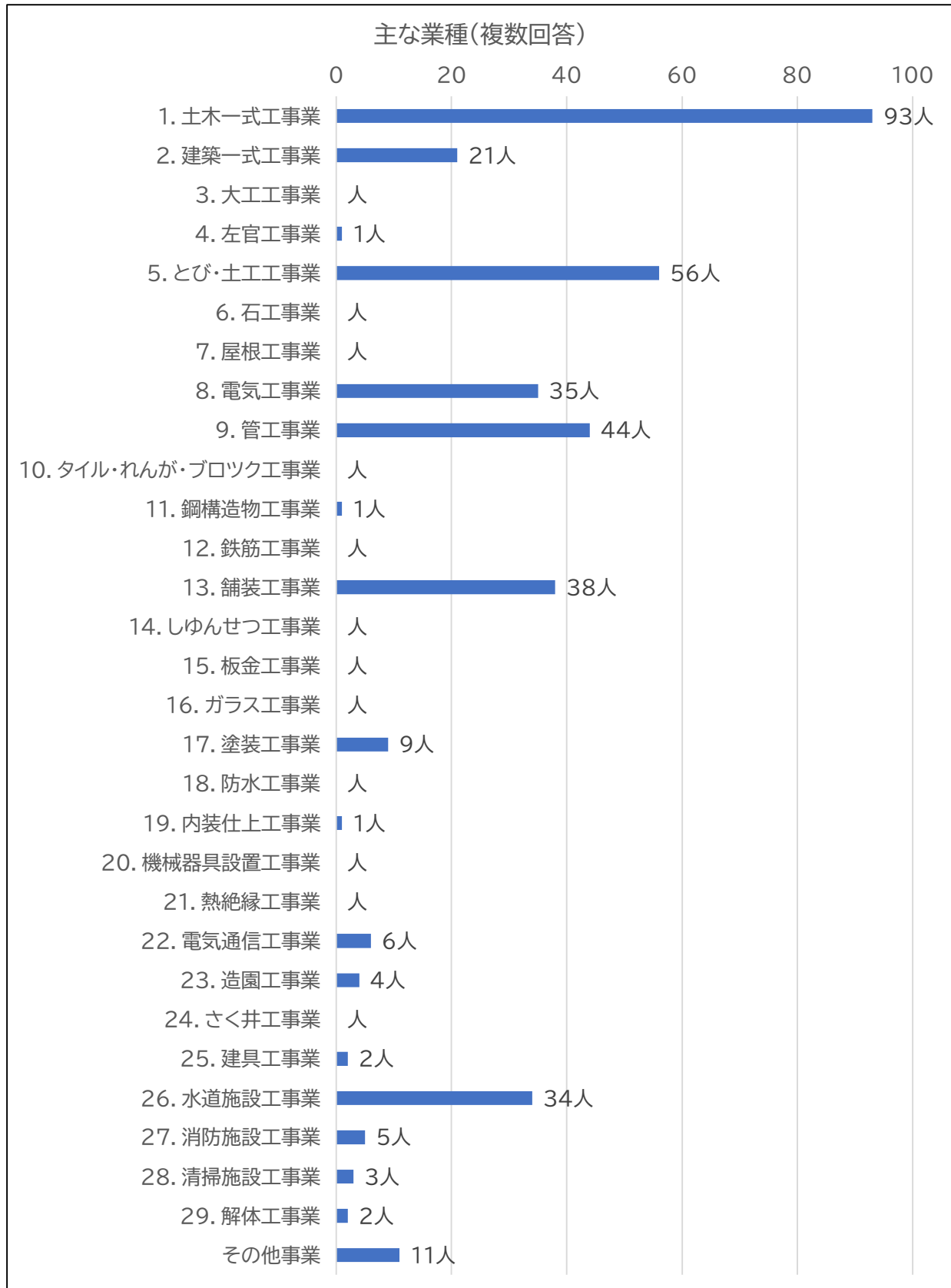
区分	回答数
就業者(建設企業)	207人

1 基本情報

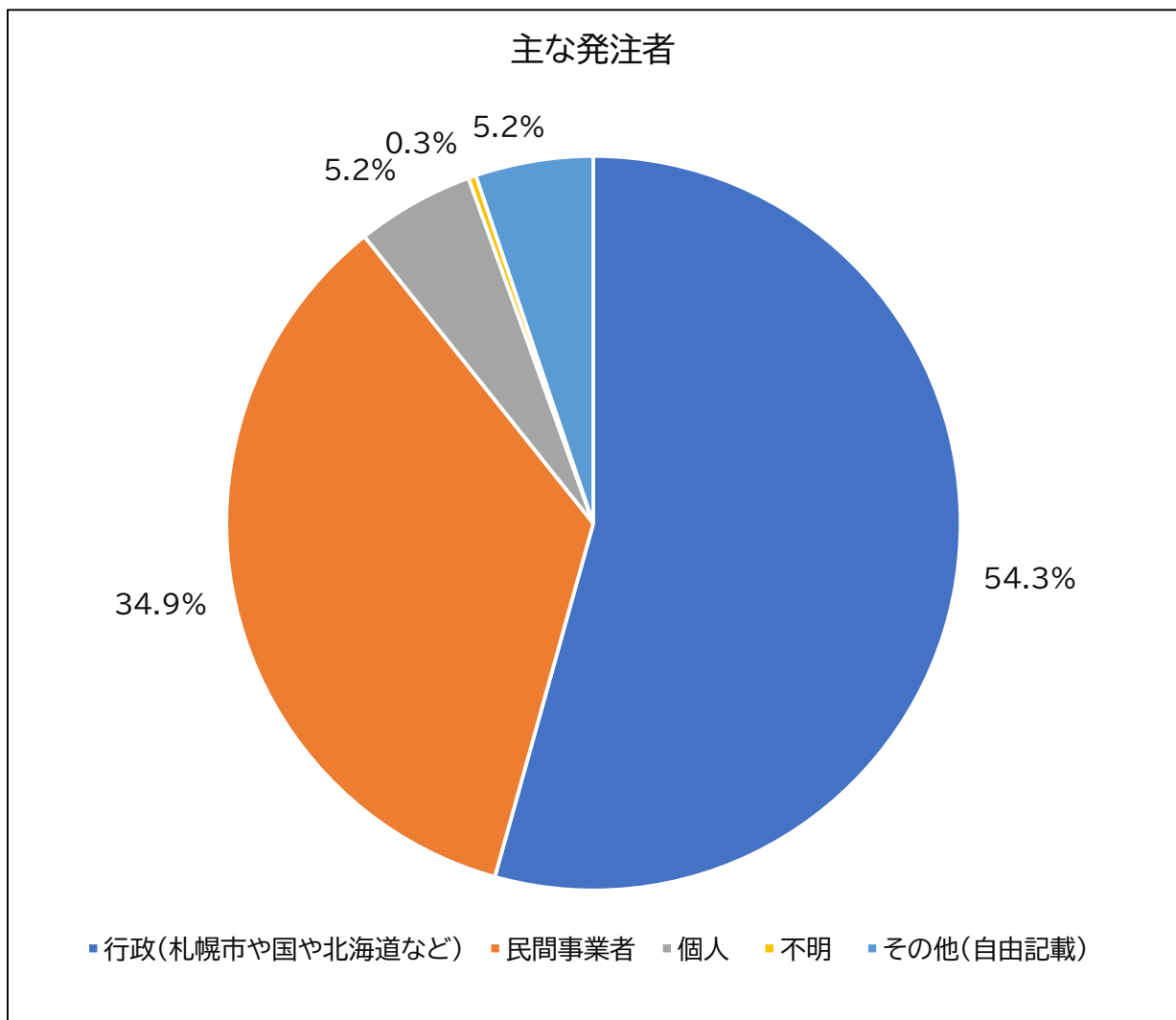
1-1 所属している「会社名」を教えてください。

回答人数:207人

1-2 あなたの担当している業種を教えてください。※複数選択可能



1-3 あなたが担当している業務の主な発注者を選択してください。 ※複数回答可能

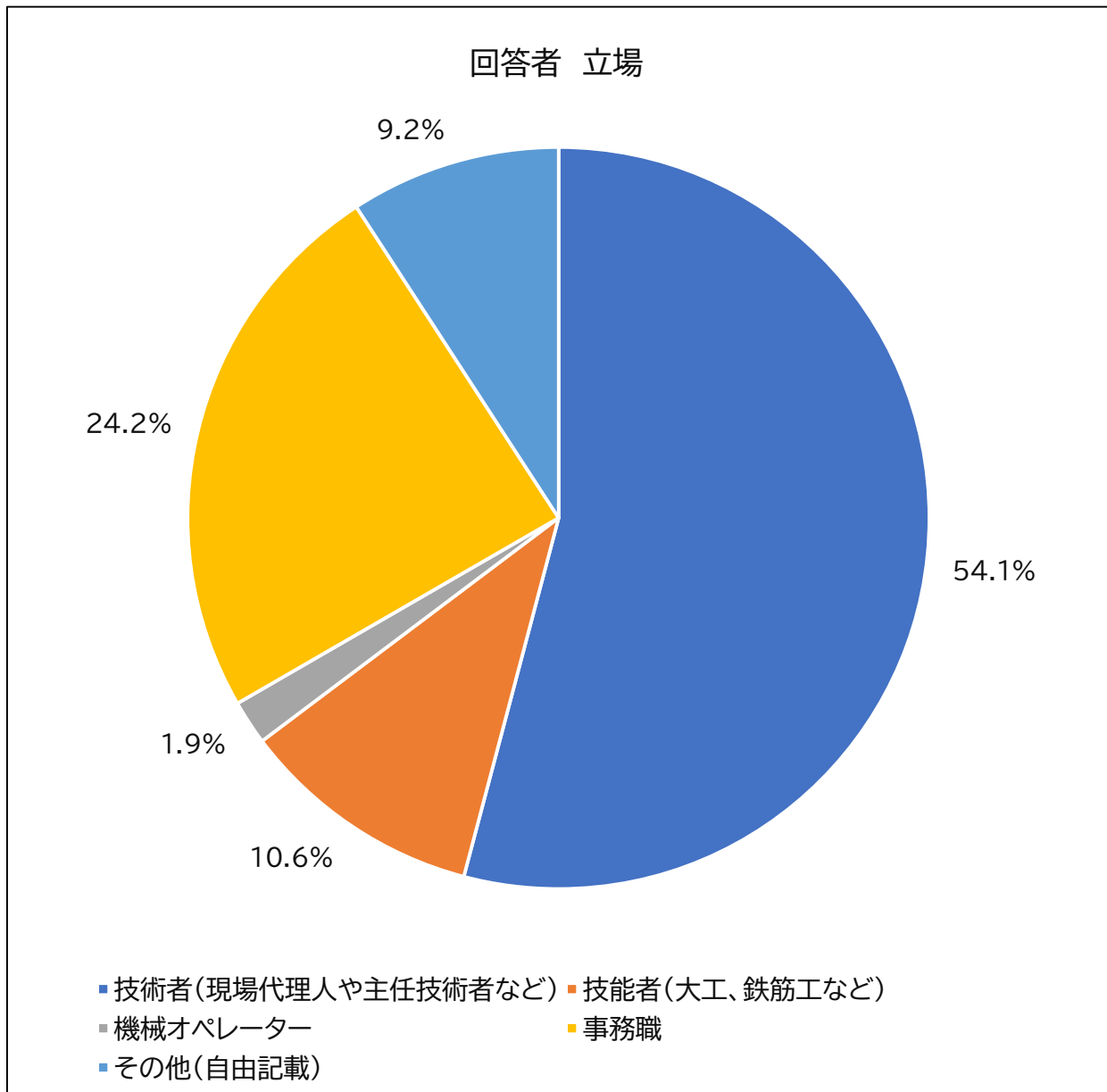


回答内容	件数	比率
行政(札幌市や国や北海道など)	157	54.3%
民間事業者	101	34.9%
個人	15	5.2%
不明	1	0.3%
その他(自由記載)	15	5.2%

質問回答数

289

1-4 あなたの立場を教えてください。

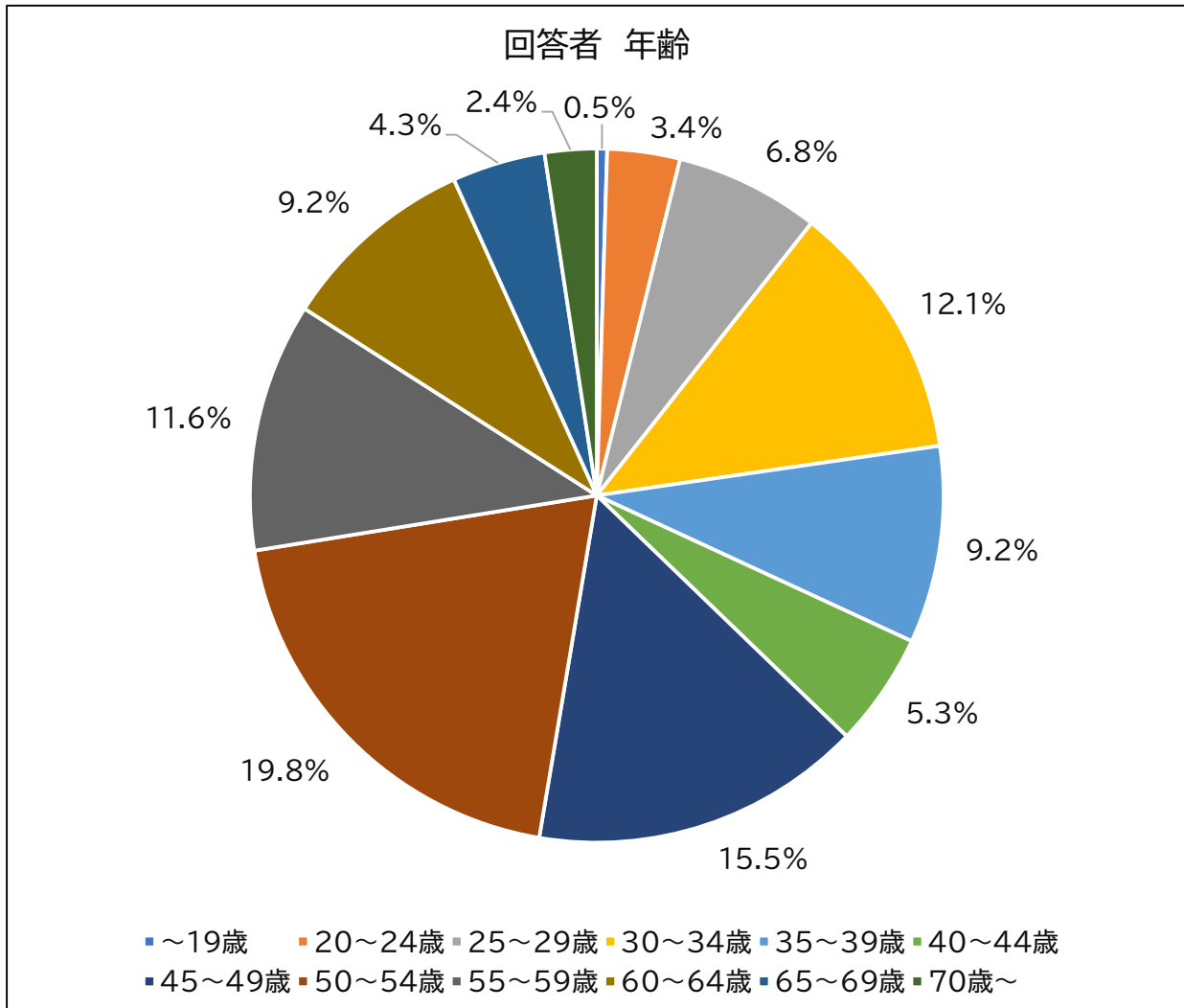


回答内容	件数	比率
技術者(現場代理人や主任技術者など)	112	54.1%
技能者(大工、鉄筋工など)	22	10.6%
機械オペレーター	4	1.9%
事務職	50	24.2%
その他(自由記載)	19	9.2%

質問回答数

207 人

1-5 あなたの年齢を教えてください。

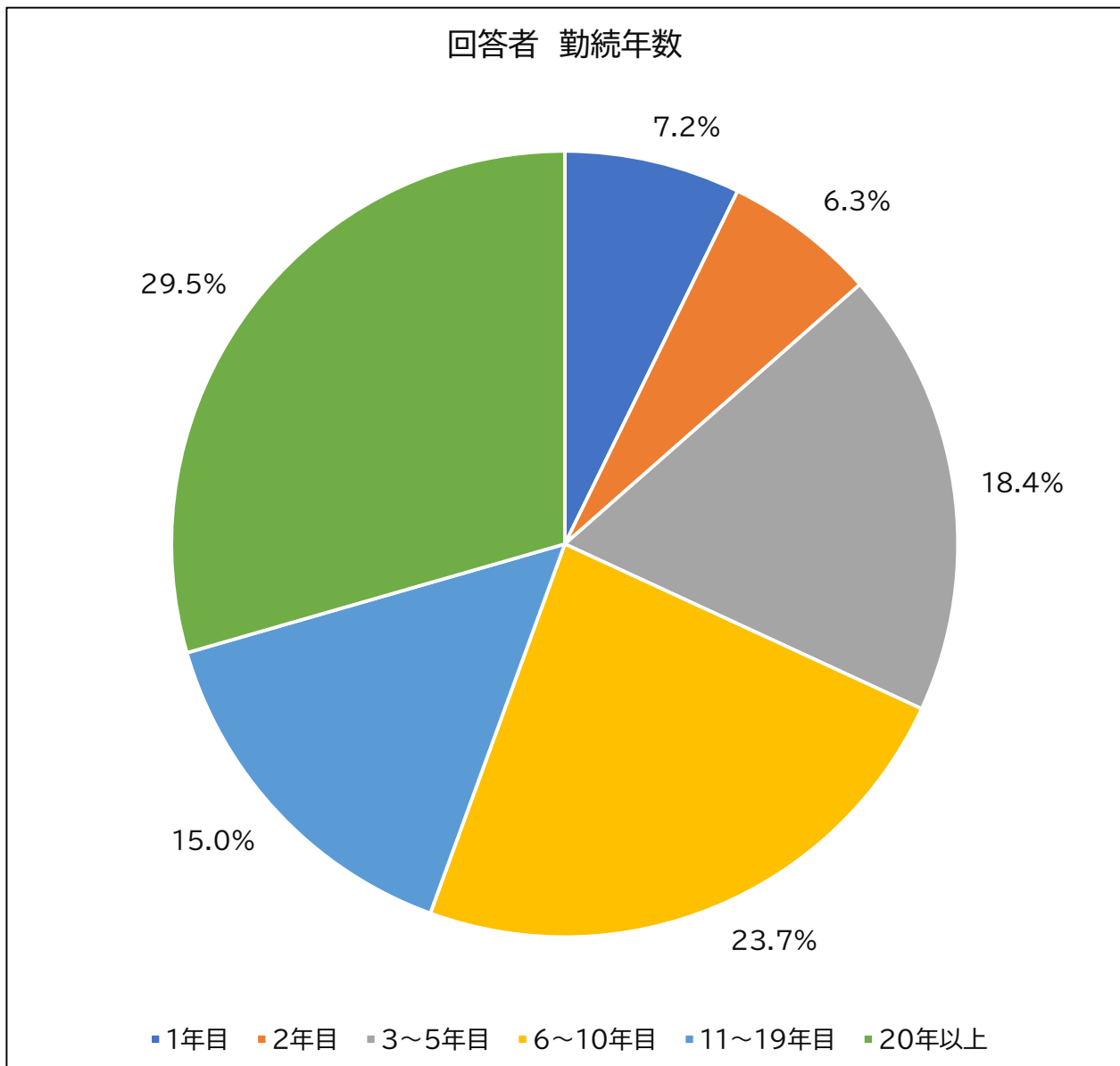


回答内容	件数	比率
～19歳	1	0.5%
20～24歳	7	3.4%
25～29歳	14	6.8%
30～34歳	25	12.1%
35～39歳	19	9.2%
40～44歳	11	5.3%
45～49歳	32	15.5%
50～54歳	41	19.8%
55～59歳	24	11.6%
60～64歳	19	9.2%
65～69歳	9	4.3%
70歳～	5	2.4%

質問回答数

207 人

1-6 あなたが現在所属している会社での勤続年数を教えてください。



回答内容	件数	比率
1年目	15	7.2%
2年目	13	6.3%
3～5年目	38	18.4%
6～10年目	49	23.7%
11～19年目	31	15.0%
20年以上	61	29.5%

質問回答数

207 人

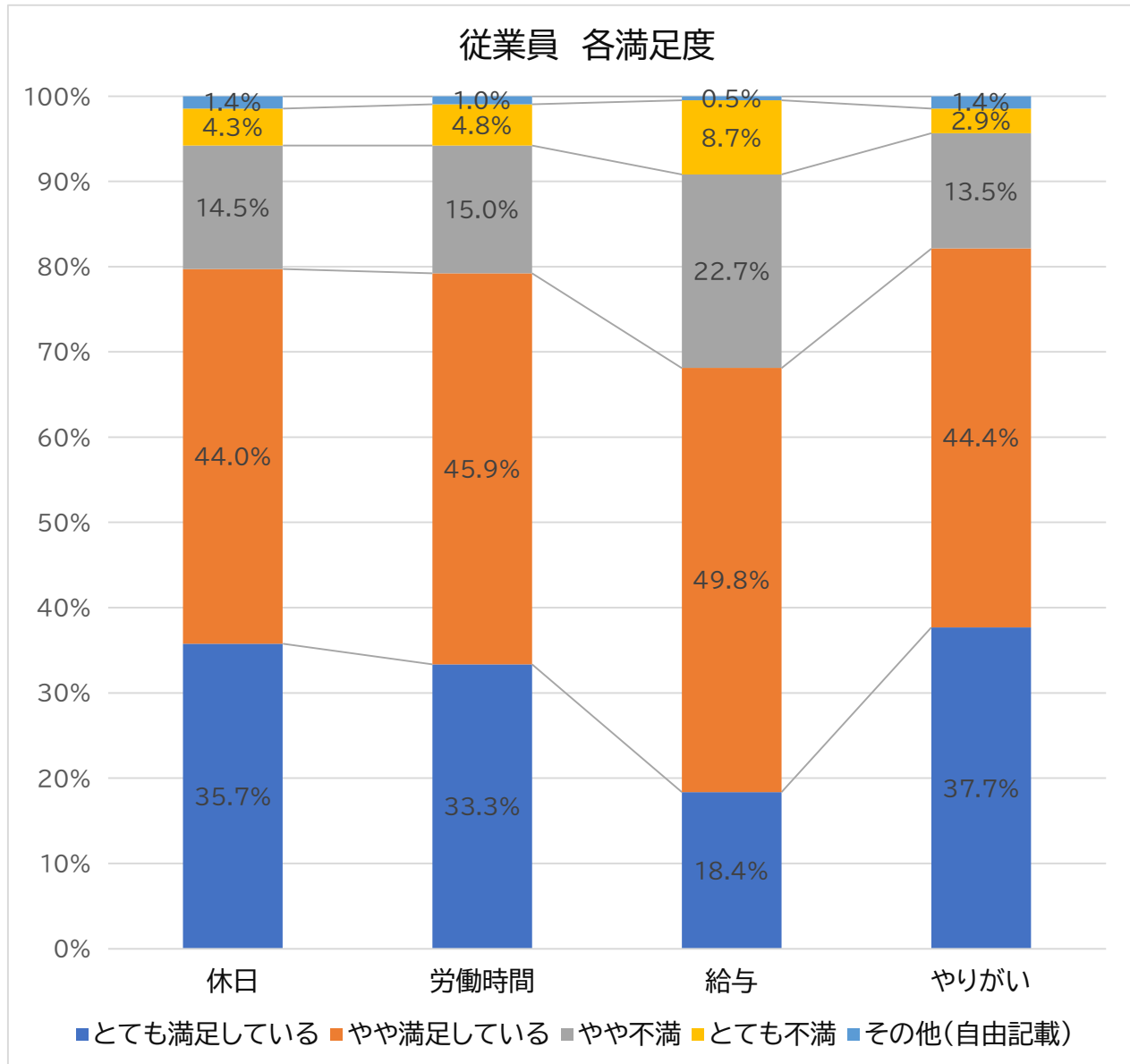
2 人材確保について

2-1 現在の休日取得状況に満足していますか。

2-2 現在の労働時間に満足していますか。

2-3 現在の給与に満足していますか。

2-4 現在の仕事にやりがいを感じていますか。



従業員 各満足度	休日		労働時間		給与		やりがい	
回答内容	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
とても満足している	74	35.7%	69	33.3%	38	18.4%	78	37.7%
やや満足している	91	44.0%	95	45.9%	103	49.8%	92	44.4%
やや不満	30	14.5%	31	15.0%	47	22.7%	28	13.5%
とても不満	9	4.3%	10	4.8%	18	8.7%	6	2.9%
その他(自由記載)	3	1.4%	2	1.0%	1	0.5%	3	1.4%

質問回答数

207 人

207 人

207 人

207 人

調査概要

1. 調査期間

令和6年11月22日～令和7年1月15日

2. 調査方法

下記のとおり

・基本設問は、WEBアンケート ※WEBを使えない場合は書面回答

3. 対象区分、回答数

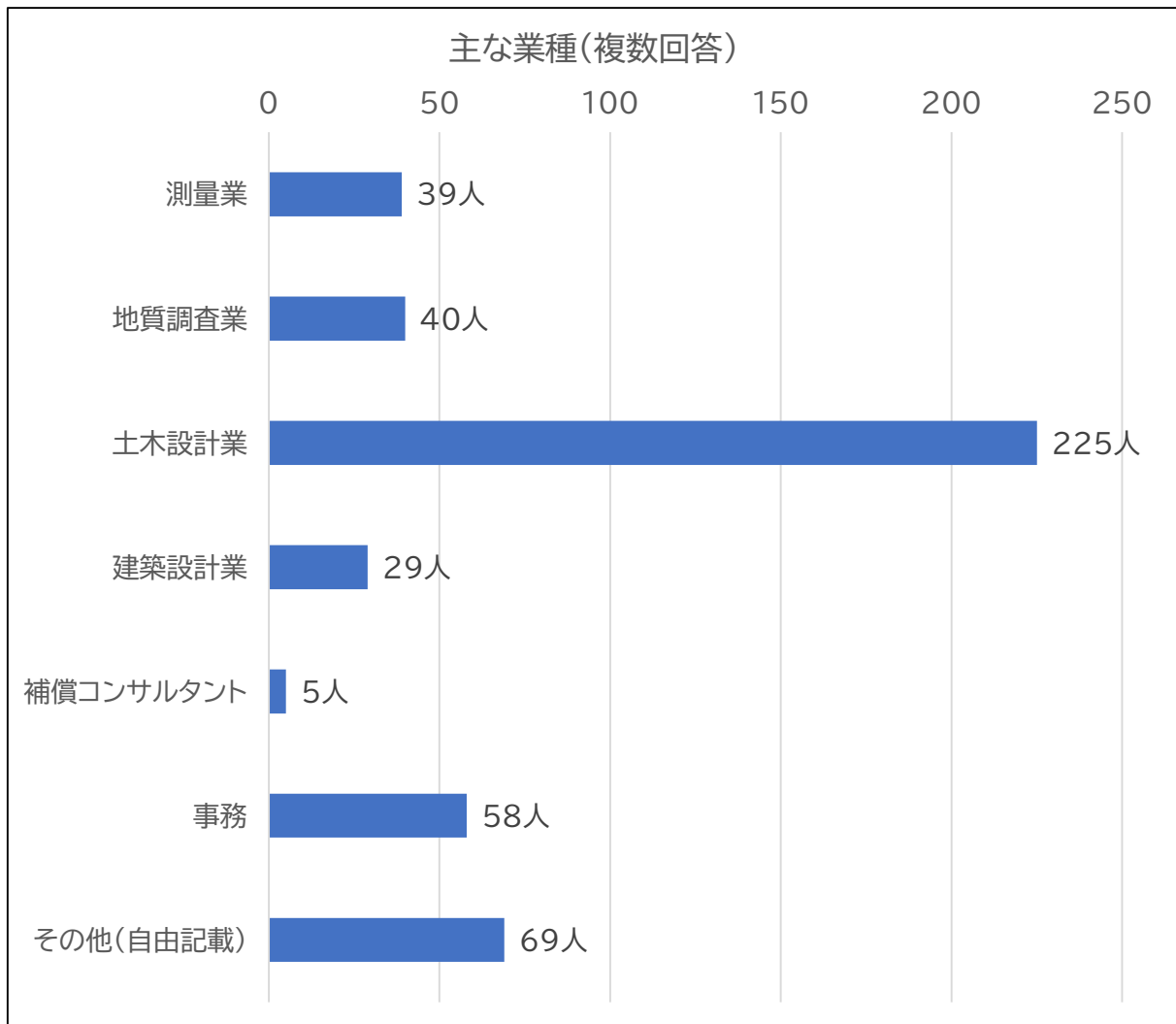
区分	回答数
就業者(建設関連企業)	398人

1 基本情報

1-1 所属している「会社名」を教えてください。

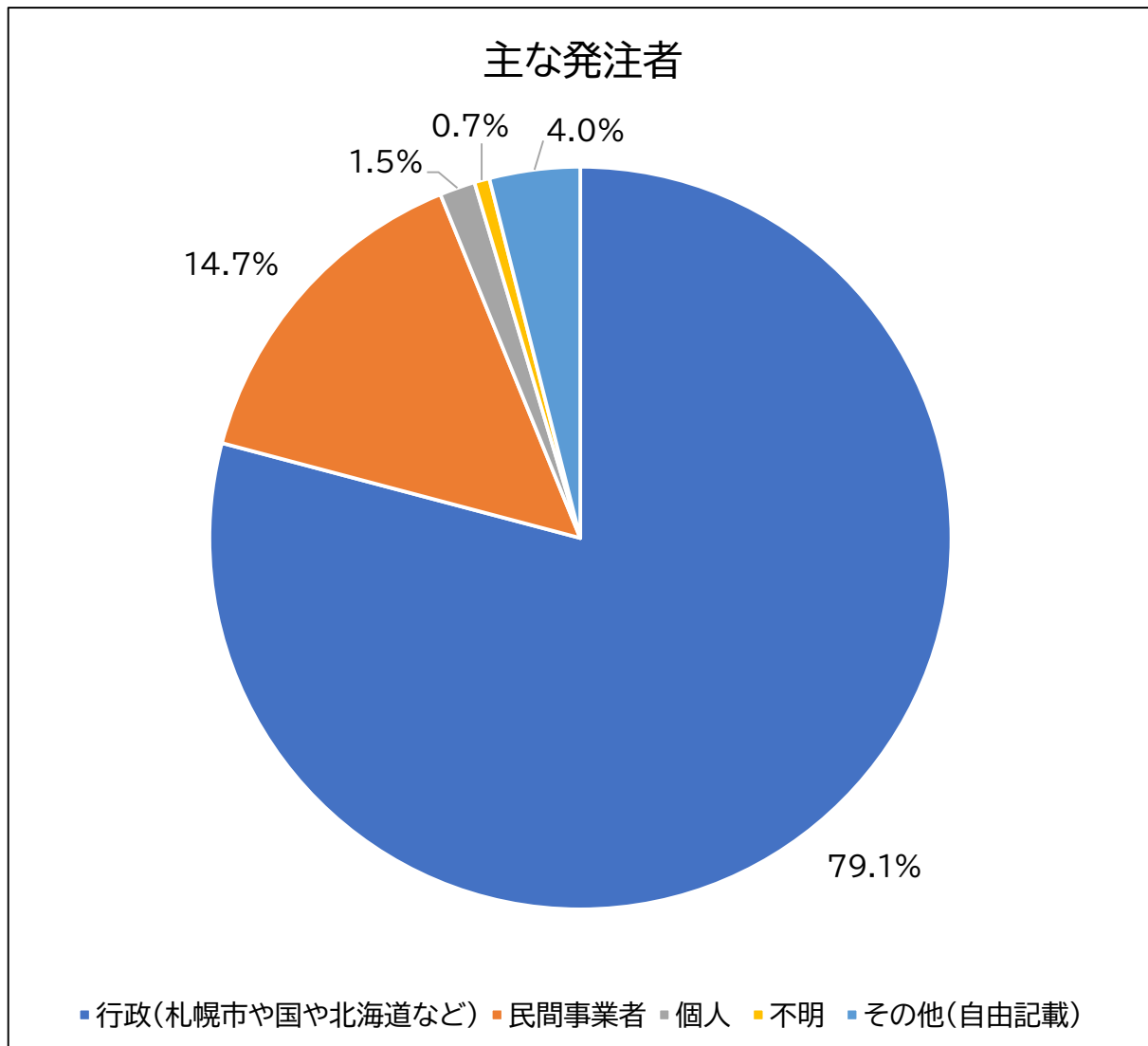
回答人数:398人

1-2 あなたの担当している業種を教えてください。※複数選択可能



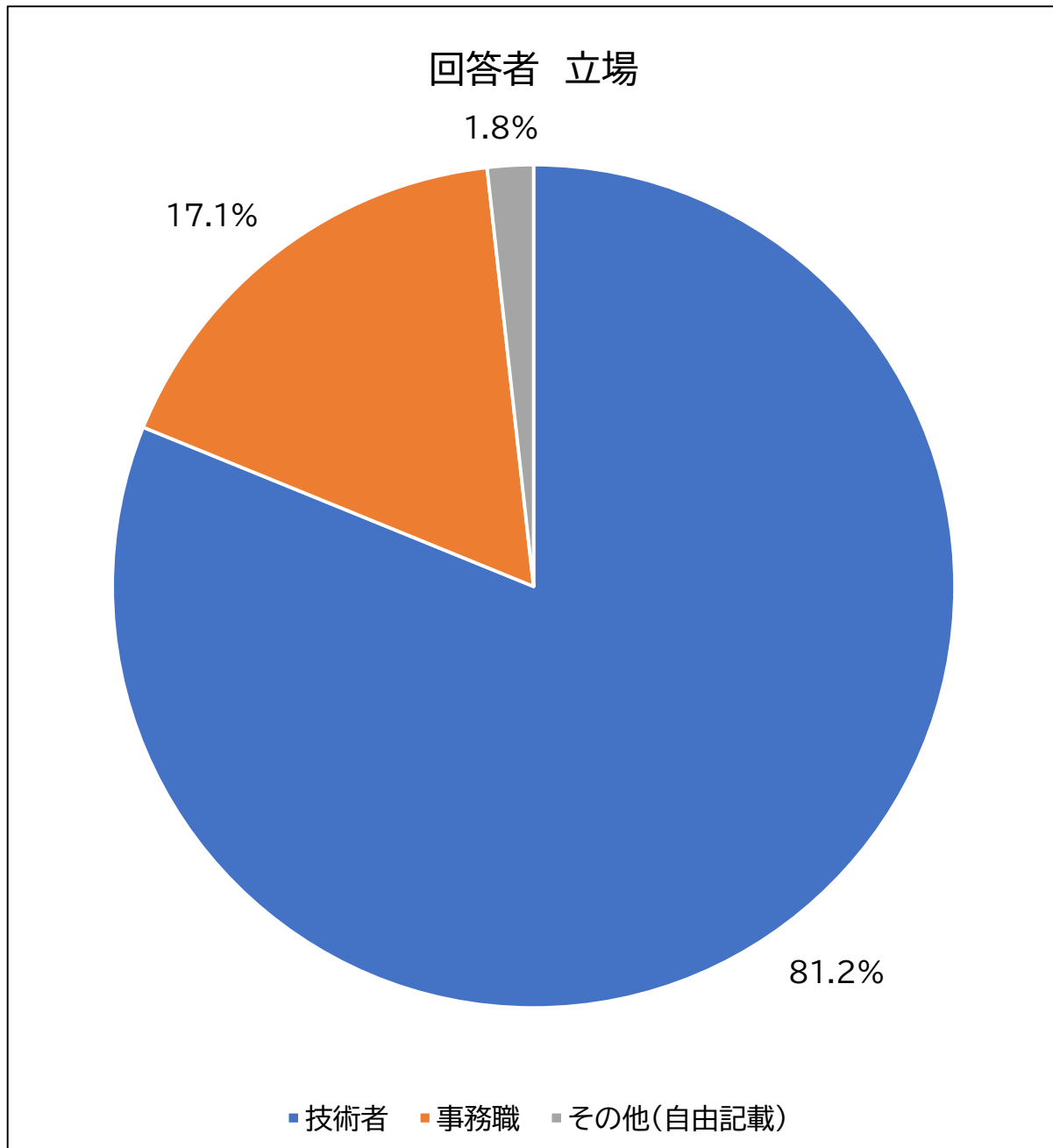
主な業種(複数回答)		
回答内容	件数	比率
測量業	39	8.4%
地質調査業	40	8.6%
土木設計業	225	48.4%
建築設計業	29	6.2%
補償コンサルタント	5	1.1%
事務	58	12.5%
その他(自由記載)	69	14.8%
質問の回答数	398	人
重複回答数	465	

1-3 あなたが担当している業務の主な発注者を選択してください。



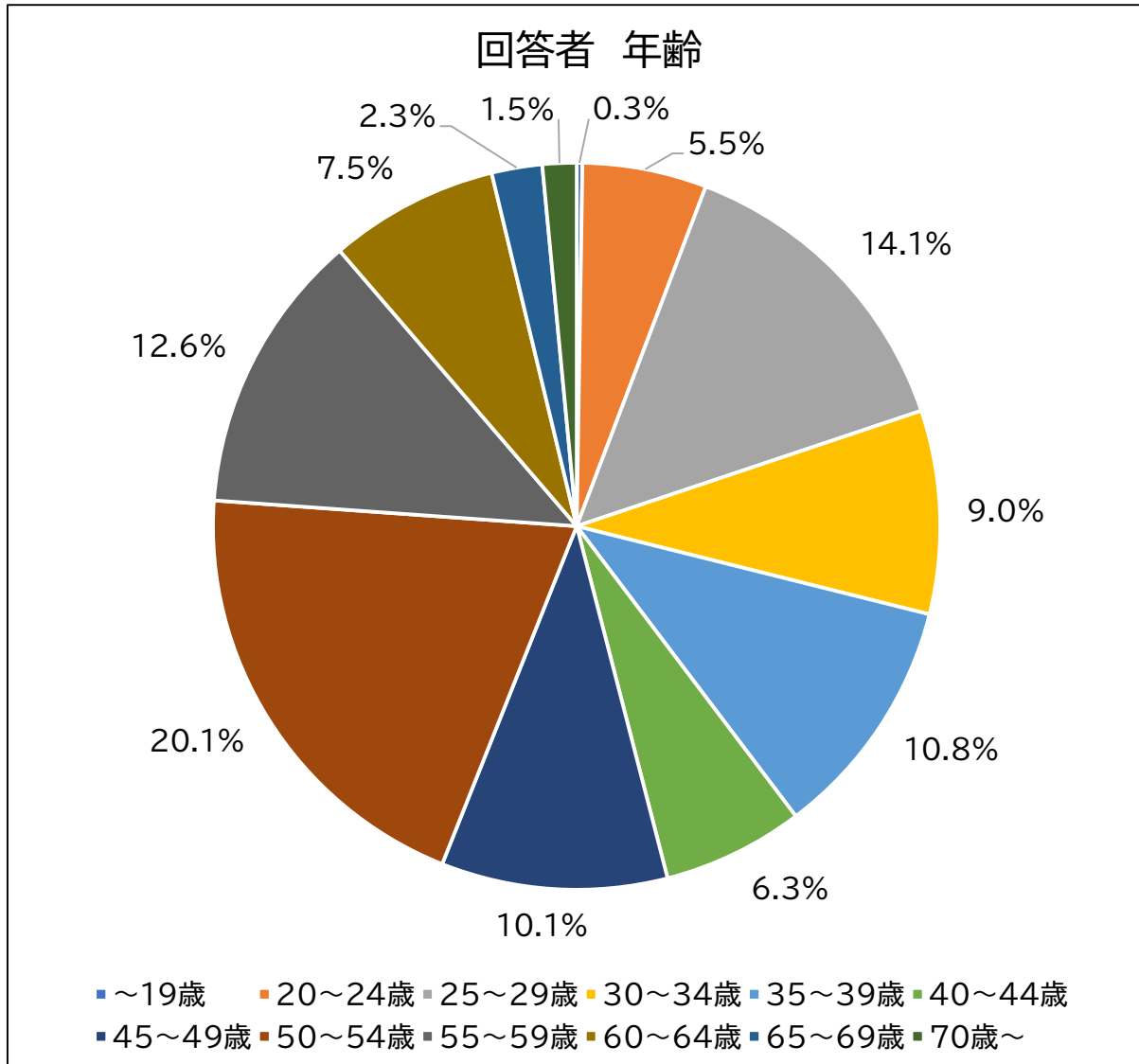
回答内容	件数	比率
行政(札幌市や国や北海道など)	360	79.1%
民間事業者	67	14.7%
個人	7	1.5%
不明	3	0.7%
その他(自由記載)	18	4.0%
回答人数	398	人
質問の回答数	455	

1-4 あなたの立場を教えてください。



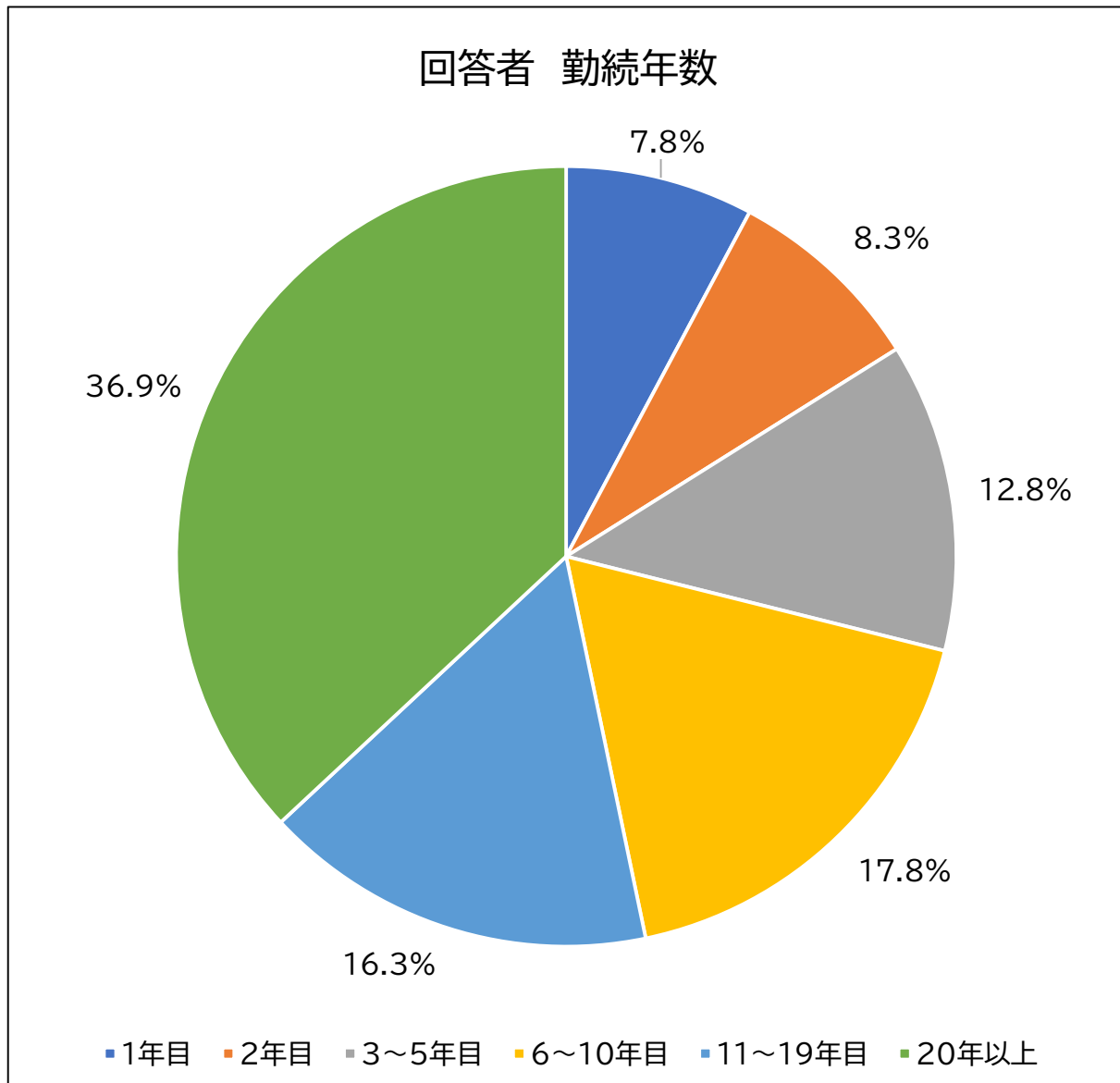
回答内容	件数	比率
技術者	323	81.2%
事務職	68	17.1%
その他(自由記載)	7	1.8%
質問回答数	398	人

1-5 あなたの年齢を教えてください。



回答内容	件数	比率
~19歳	1	0.3%
20~24歳	22	5.5%
25~29歳	56	14.1%
30~34歳	36	9.0%
35~39歳	43	10.8%
40~44歳	25	6.3%
45~49歳	40	10.1%
50~54歳	80	20.1%
55~59歳	50	12.6%
60~64歳	30	7.5%
65~69歳	9	2.3%
70歳~	6	1.5%
質問回答数	398	人

1-6 あなたが現在所属している会社での勤続年数を教えてください。



回答内容	件数	比率
1年目	31	7.8%
2年目	33	8.3%
3～5年目	51	12.8%
6～10年目	71	17.8%
11～19年目	65	16.3%
20年以上	147	36.9%
質問回答数	398	人

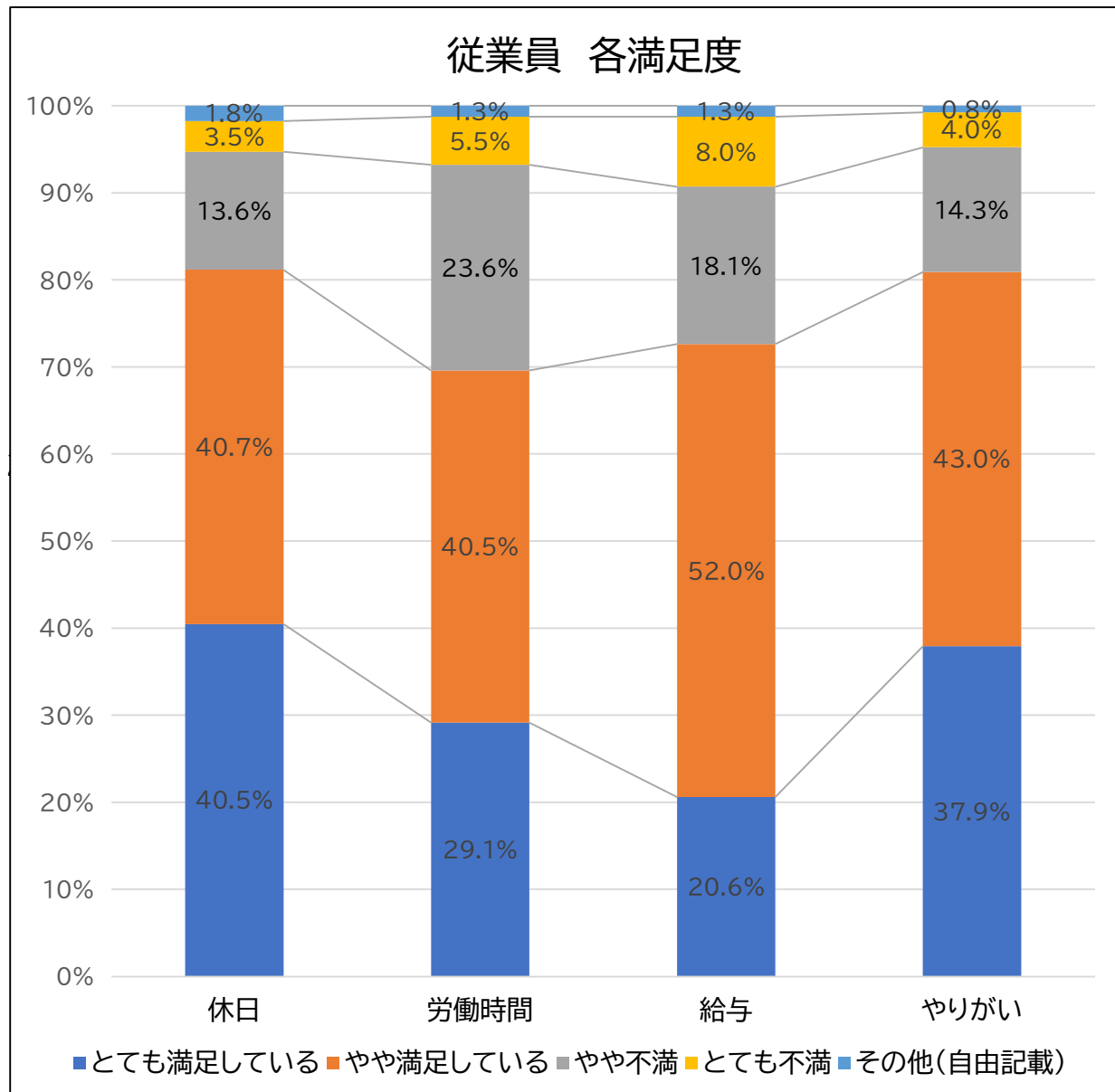
2 人材確保について

2-1 現在の休日取得状況に満足していますか。

2-2 現在の労働時間に満足していますか。

2-3 現在の給与に満足していますか。

2-4 現在の仕事にやりがいを感じていますか。



回答内容	休日		労働時間		給与		やりがい	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
とても満足している	161	40.5%	116	29.1%	82	20.6%	151	37.9%
やや満足している	162	40.7%	161	40.5%	207	52.0%	171	43.0%
やや不満	54	13.6%	94	23.6%	72	18.1%	57	14.3%
とても不満	14	3.5%	22	5.5%	32	8.0%	16	4.0%
その他(自由記載)	7	1.8%	5	1.3%	5	1.3%	3	0.8%

質問回答数 398 人 398 人 398 人 398 人

より効果的なPR広報について (現場のご協力の依頼)

より効果的なPR広報について

■PR広報に関する現状

- ・プラン重点施策3点のうち、「新たな人材確保」に向けたPRのあり方について、ターゲットとなる人材に対して、より実効性のある効果的なPRが必要
- ・現状では様々な主体(行政、各企業、業界団体など)が様々な目的や手法で動画やパンフレットなどを作成…ターゲットや狙いが多様化している印象
- ・プラン2期目のスタートにあたって、広報動画について再検討していく

新たな人材確保

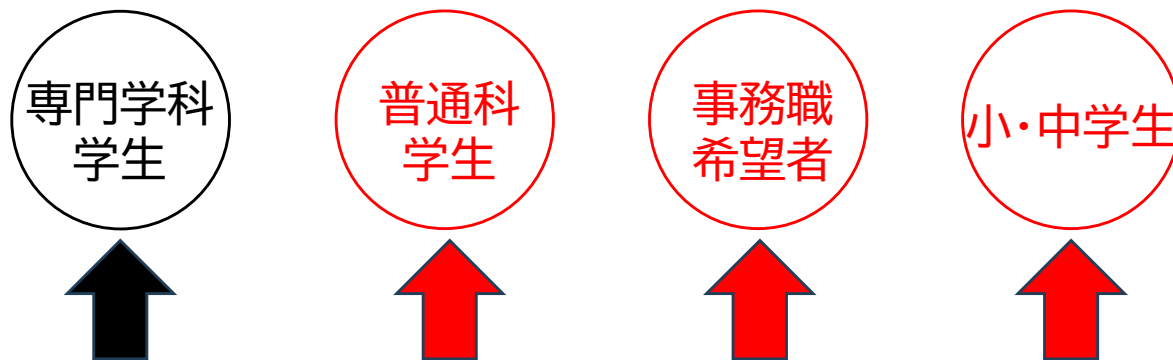
より効果的なPR

ターゲットの明確化・PR手法の再検討

より効果的なPR広報について

■ターゲット

- ・現時点で興味や知識を持っていない(自分とは関係無いと思っている)層へのアプローチが必要
- ・専門学科に加え、普通科の学生、事務職希望者(転職者を含む)、小中学生等の若年層などへ拡大



現時点で興味・知識を
持っていない層への
アプローチ方法

■PR手法

- ・パンフレットなどの紙媒体と比べて、動画は視覚・聴覚双方に訴えかけ、直感的に理解しやすい利点がある
- ・近年は手軽さやタイパを重視する傾向があり、情報の入口としてショート動画も有効
- ・昨年度実施したSNS(YouTube・Instagram・X)の動画広告は3SNS合計で140万回以上表示され、「さっぽろけんせつガイド」への誘導は3,606件に達した



ショート動画



SNS別 表示・誘導回数

SNS	表示回数	誘導数
YouTube	約116万	1,322
Instagram	約14万	2,244
X	約10万	40

より効果的なPR広報について

■PR手法

(基本コンセプト)

- ・ターゲットが知りたい情報・ニーズを的確に捕らえた内容
- ・建設の仕事の重要性と楽しさへの理解
- ・建設業3Kイメージの解消、建設業(労働環境の改善状況)への正しい認識
- ・各種インフラがどんな仕組みでできているのか、なぜそうなっているのか、の視点

(アプローチ手法)

- ・「入口は広く、段々と深く狭く」という段階的なアプローチ
- ・全体像(分野横断)と各論(分野毎)を事務局と各業界で分担
- ・作成した動画については、「さっぽろけんせつガイド」への掲載を予定

タイムラプス…同一アングルにて撮影し時間の経過を凝縮して表現する方法

動画案:現場のタイムラプス解説動画(インフラのつくり方編)				
【主な対象】	【段階】	【概要】	【時間】	【狙う効果・感想】
関心のない層	注意を惹く	ショート動画 (施工前後写真の対比等)	15秒	おっ！
注意を惹かれた層	興味を持たせる	動画をストップさせて 解説1回【例:道路の構造・断面】	30秒 ～1分	へえ～！
(少しでも) 興味を持った層	ちょっとした 理解・新知識	動画をストップさせて 解説2回【例:業者の役割分担】	3分	こうなっているのか！ こうやっているのか！
(少しでも) 理解・知識がある層	より引き込む	動画をストップさせて 解説3回【例:現場の工夫、裏側】	5分	<u>面白い！</u> <u>もっと調べてみたい！</u>

関心度





今後の動画等の作成の際
各現場等でのご協力をお願いいたします